

ルビイ船長シーズン2 台本

● 第1章

ル「んんっ……んあ、あん、んっ、あ、ああ、ううっ♡

うん、あん、あんっ、あ、あっ、うん、んっ、んっく、んっふ……♡

っおおっおおっおお……っ♡

あはあっ……ああんっ、あんっ、いや、やん♡

んおっ、おん、んくっ、んうっ……♡

くっうううん……っ♡

っおおお……っ♡

っはあ、っはあああ……っ♡

あはあ……っ♡

キミさあ〜♡

今日も相変わらずっ、おチンポっ、いい具合だねえ……っ♡

さっすが船長のこと孕ませたあ、優秀手下チンポお……っ♡

っううん……っ♡

んあ、ああん、あっ、あんっ、んう、んあ、んあっ♡

んおっ、おっ、おっ、おっ、おっ……♡

はっあああ……っ♡

おまんこ気持ちいいの止まんない……♡

好き好きおチンポピストンでえ……っ♡

ザーメン搾り、止まんないねえ……っ♡

ふっ、ふっ、ふっううう……っ♡ くっうううん……っ♡

はっあああ……っ♡

おっぱいも、止まんね〜♡ 赤ちゃんのためのおっぱいなのに……っ

♡

キミのおチンポで感じまくりで、いっぱい溢れちゃう……っ♡

ふっ、はっ、ふっ、くっうううん……っ♡

ほうれえ……っ♡

このままじゃあもつたないからあ、飲めよ、飲めよお……♡

船長の母乳だぞお……っ♡

手下のキミはあ、喜んで飲まなきゃいけないだろお……♡

ほれ、ほれ、ほうれえ……っ♡

そうそう、お口あぐんってして、おっぱい、ちゅうちゅう……っ♡

んっううん……っ♡ ああっ、んっひい……♡

ちゅうちゅう、すっごい上手う……っ♡

ああ、出る出る、出るう……っ♡

おっぱい吸われて、いっぱい漏れるう……っ♡

はっあああ……っ♡

んっ、ふっ、はあああ……っ♡

んっ、あん、んあ、あっく、んっく、いや♡

いあ、ん、んうっ、んあ、んあう……♡

んっ、おお、おおんっ、おんっ、いや、やん♡

っあああ……っ♡ セックス気持ちいい……っ♡

ルビイのこと孕ませた、私の恋人とお……っ♡

朝からハメまくりえっちい……っ♡

他の手下どもには内緒で、ばこばこあんあん……っ♡

チンポとまんこぐっちよりかき混ぜ合うのっ、最高だねえ……っ♡

っはぁ、っはぁ、っはぁ、はぁぁぁ……っ♡

ほらぁ……♡ ちゅーもするぞぉ……♡

おっぱいごくごくも大事だけどぉ……♡

ルビィとの恋人べろちゅーも、大事だろぉ……っ♡

んゝ……っ♡

はっぁぁぁぁ……っ♡

んぁう、ぁう、ぁん、ぁんっ、んぁっ、んぁうっ……♡

うっく、うぐ、うぉおんっ、おん、ほおっ、おほっ、おほおっ……♡

っおおっおおお……っ♡

はっぁぁぁぁ……っ♡

んっ、んっ、んっうんっ、はっぁぁぁぁ……っ♡

チンポ、気持ちいい……っ♡

お手々繋いで、恋人セックスう……♡

手でも口でもおまんこでもぉ……♡

っいでにおっぱいでもぉ……っ♡

全部でキミと繋がって、いちやらぶ交尾い……♡

ルビィ、どんどん幸せになっちゃう……っ♡

キミとのハメパコ、だぁい好きだぞぉ……♡

あっ、ああっ、あっ、はあっ、あんっ、あん、あんっ、やんっ、ふあっ

♡

おっ、おっい、んお、おおん、おっ、おんっ♡

んう、んあ、んあっ、あっ、あっ、あっ、あっ……♡

ん、っく、ん、んふう、んお、おう……♡

んっうんっ、くううんっ、はっ、はっ、はっあああ……っ♡

んっうう……？ 出ちやいそうって？

あはっ♡ いいよお、出せ出せ……っ♡

孕ませ済みまんこに、びゅーびゅーお射精……っ♡

もうとっくに孕んじゃってるから、

逆に中出しし放題だもんねえ……っ♡

おチンポたっつぷり気持ちよくなりなあ……っ♡

恋人船長おまんこでえ……っ♡

他の手下たちが絶対使えないおまんこでえ……♡

一人だけ、優越感たっぷりのおチンポお漏らしい……っ♡

船長まんこに遠慮なし種付けえ……っ♡

しちまいなあ……っ♡

ただしい……っ♡

イク時はぁ……♡ ベろちゅーすることぉ……♡

船長命令だからなぁ……っ♡

出せ、出せ♡ チンポ出せ♡ チンポイケえ……♡

中出し♡ 中出し♡ びゅっびゅっびゅう……っ♡

んううっ、んっふううう……っ♡

っはぁ♡ っはぁ♡ っはぁ♡ はぁぁぁ……♡

んひひ……♡ たっぷり出たねえ……♡

ルビイの母乳ごくごくして、キンタマザーメン、

濃おくしちやっただんだねえ……♡

スケベなパパだなぁ♡ まったくもう……♡

しかもさぁ……♡

まだまだチンポ、おっきいままだし……♡

どんだけ船長のこと好きなんだよ♡

仕方ないやつめ♡

うんうん♡ いいよぉ……♡

もっかいしようなぁ……♡

ルビイももっと、キミといちゃごらしたいからさぁ……♡

まだまだ母乳も出まくりだし……♡

いっぱい気持ちよくなっちゃおうなあ……♡

ほうらあ……♡ 今度は手だけじゃなくて……♡

全身でぎゅーって、キミのこと、抱きしめてあげるからあ……♡

っおおお……っ♡

んっ♡ ふっ♡ はっ♡ はっああ……っ♡

好き好き大しゅき抱きしめ交尾でえ……♡

愛し合おうぜえい……っ♡

んお、お、んおっ、おおっ、ううおっ……♡

んお、んう、おん、うん、おん、おんっ、んんお♡

ふっ♡ ふっ♡ ふっ♡ ふっううう……っ♡

ああ、おまんこっ、気持ちいい……っ♡

らぶらぶおまんこでっ♡ 恋人チンポっ♡

気持ちよくしてあげるのっ、幸せすぎい……っ♡

アホな手下どもから、おばさんだとか、婚期逃してるとか、

いろいろ言われてるけどさあ……♡

船長は永遠の、ぴっちぴちの「7」歳だし……っ♡

本当はキミと、毎日だって愛し合っててえ……っ♡

赤ちゃんだってばっちり孕んで……っ♡

幸せ享受しまくりなんだよなあ……っ♡

それ知ってるのは、今は、キミただけけど……っ♡

っおおお……っ♡

あいつらにバラす瞬間が楽しみだなあ……っ♡

んひひひひ……っ♡

ほお、おふ、ふおっ……っ♡

んっ、おっ、おう、んっ、んうっ、ひいっ♡

はあああああ……っ♡ ふうううっ、んっくうん……っ♡

っおお、んおう、んっく、くお……っ♡

ほおっ、んんお、っくお……っ♡

んうっ、おおん、うん、おんっ、おっ、んお、おお……っ♡

ひい、おほお、ううおっ……っ♡

はっあああ……っ♡

ほうら♡ またおっぱいも、いっぱいちゅうちゅう……♡

一回出して薄まった精液い……っ♡

ルビイの母乳でまた濃おくしちゃってさあ……っ♡

キミ専用の恋人まんこに、たっぷり吐き出しちゃええ……っ♡

っおお……っ♡

くっううん……っ♡

はっ、はっ、んっうん……っ♡

おっぱいちゅうちゅう、さっきより、勢いすご……っ♡

おチンポもっ、またあっつくなくてきてるしい……っ♡

っおおお……っ♡

またびゅーびゅーしてきたくなってきたのかなあ……っ♡

大好きな船長にいっぱい甘えてえ……っ♡

美味しいおっぱいミルクごくごく飲んでえ……っ♡

おチンポ幸せ中出ししたくなってきたのかなあ……っ♡

っおおお……っ♡

おお、ん、んふ、んお、んう、お、っおお……♡

お、おおっ、ん、んふう、んっ、んお、おん、んう……♡

んっううんっ、ほっおお……っ♡

いいぞお……♡ 出せ、出せえ……っ♡

今度はこっちも……っ♡

ルビィも、イク、からあ……っ♡

いっしょに気持ちよく、なっちやおうな……っ♡

二人でいっしょに……っ♡ 幸せアクメえ……っ♡

しちゃおうなあ……っ♡

んお、うつふ、うん、おほ、おんっ、おんっ、おんっ♡

ん、んお、おん、おお、おん、おお、んっ、んふ♡

んっふ、おお、おお、おおん、んおん……っ♡

んおっ、おんっ、おっ、んお、おおんっ、おお、んっうん♡

んっうううん……っ♡

イック♡ イック♡ イック♡ イックう……っ♡

おっぱいちゅうちゅうっ♡ たっぷり吸われて……っ♡

んっううう……っ♡

おっぱいとおまんこっ、いっしょにイク……っ♡

恋人チンポ射精といっしょにイクイクっ、イググうう……っ♡

んおおっ、おんっ、やんっ、おお、うおんっ♡

おん、うん、おん、おんっ、ん、んお、ほお、おふ、ふお……っ♡

はっああああ……っ♡ 出してっ♡ 出してっ♡

ルビィのおまんこっ、またいっぱいい……っ♡

中出しっ♡ どくどくっ♡ たくさん出してっ♡

出してっ♡ 出してえっ♡

っおおお……っ♡

んっ♡ おっ♡ ほおおっ、くううん……っ♡

はっ、はっ、はっ、あっはあああ……っ♡

んうおおっ♡ くうううん……っ♡

んっいいいい……っ♡ くうっっ♡ ほおおお……っ♡

はっ、ふっ、はっ、はあああ……っ♡

ああ、いっぱい、出たあ……っ♡

ルビィのおっぱいも、キミのチンポ汁もお……っ♡

んふふ……♡

たっくさんびゅーびゅー、気持ちいいねえ……♡

はあ、はあ、はあ……♡ んう……？

あは♡ ちょうど船が港に着いたみたいだねえ♡

いやいや、船長がお楽しみ中、

きっちり目的地まで舵を切っててくれて、

優秀な手下をいっぱい持ったもんだねえ♡

そんじゃ、さっさと上陸するよ♡

今回の目的地……ペリルランドにさ♡

んひひひ……♡」

● 第2章

ル「さてさてえ……。

いやあ、ここに来るのもいつぶりかねえ。

キミは確か、来たことなかったよね？

このベリルランド。

最後に来たの、キミがルビィ海賊団に入る前だったはずだし。

ベリルランドっていうのは、

ここらの海一帯の海賊が集まる、

いわゆる海賊街ってやつでね。

いろんな目的あるやつが集まった結果、

もうちょっとした国の、

ちょっとした都市ぐらいの規模なんだよ。

世界中のありとあらゆる物が、

見れて、食べて、楽しみ放題ってね。

ま、八割は盗品だけだね。海賊だし？

それと、たまぁに嫌いな連中と鉢合わせして、

火花バチバチに散らすこともあるっちゃあるんだけど……。

基本的にはこの街で暴れるのは禁止だから、

海賊だらけだとしても、とりあえず安心していいよ。

ちゅうわけだから、お前らっつ。

今夜は目一杯楽しんじゃっていいぞっつ。

酒に女に、溺れまくってこっいつ。

ただし、その前に積み荷を下ろしてからだぞっつ。

ここには遊びに來ただけじゃあないんだからなっつ。

仕事はきっちりこなしてから、遊びに行くんだぞっつ。

よし。んじゃあこっちは、一足お先に挨拶に行くかねえ。

キミもいっしょに來てくれる？

ほら、あそこ。あの城っぽい船。

ん？ 船っぽい城かな？

とにかくあそこに、

積み荷をここまで運んでくるようって手紙、
わざわざ送っててきてくれやった……。

ルビイの姉上様たちがいるからさ。

んひひひひ……。」

ル「はいはい。ルビイちゃんが来ましたよーっと。」

ベ「おお、久しぶりだなあ、ルビイ。

元気にしてたか？」

レ「私たちのお願い、聞いてくれてありがとう。

報酬は後で船に送っておくわねね。」

ル「お久々。

いやあ、二人とも元気そうで何より。

てわけで、この二人がルビイの姉の……。」

ベ「ベリルだ。

お前か？ ルビイの手紙に書かれてた、

お気に入りのお友……っていうのは。」

レ「初めまして。レッドよ。

ふうん……。なるほど、確かに……。

なかなかいい男に見えるわね。」

ル「でしょ〜?」

あつ。だからって姉さんたちにはやんないよ?

こいつはルビィのもんなんだから。

ね〜? んひひ……」

べ「けっ。見せつけてくれやがって。」

レ「人前でべたべたくつくものじゃないわよ?」

ル「別にいいもんね〜だ。

それより二人とも、こんな時間から酒臭いんだけど?

相変わらず飲みっぱなし?」

べ「それこそ別にいいだろ。

ここは俺の島だぜ?」

レ「ええ、ベリルの言うとおり。

ベリルランド……その名の通り、

彼女の名前が付けられた島なんだから。」

ル「おかしい話だよね〜?

いくら自分の島だからって、普通自分の名前なんて、

つけるもんかねえ?

あ、ちなみにこの二人、双子なのね。

性格は全然似てないけど。」

ベ「余計なお世話だ。

しかし……。

お前、俺から見てもいい男だな。

味見ぐらい……してもいいだろ？ ベリル。」

レ「そうねえ。

私もつまみ食いしてみたいと思ったのよ。

ふふふ……。」

ル「やらないって言ってんでしょーがっ。

離れろ離れろっ。

クソ姉どもがあゝっ」

ベ「あん？　なんだ、お前？」

レ「ルビィの手下のようだけど？」

ル「あん？　どったの？

え、積み荷が一個足りない？

うっそだあ。あんだけ確認したのに。

確認ミスってんじゃないの〜？」

ベ「行ってこいよ、ルビィ。

船長なんだろう？」

レ「積み荷に不備があったら、報酬もその分減らすわよ？」

確認してきなさい」

ル「ええ〜……。

ったく、仕方ないなあ。

はいはい、行きますよ〜」

ベ「……いなくなったな？」

レ「……ええ、手はず通り。」

ベ「そんじゃ、お前……♡」

レ「ちょおとごつち、来てくれるかしら♡」

ベ「俺らのベッドルームに……♡」

レ「~~ご案内~~……♡ ふふふふふ……♡」

ベ「さあて……♡

そんじゃ、ルビイが戻ってくるまでの間に……♡

一汗かくとするか……♡」

レ「ええと、確か……ああ、あったあった♡

これね♡ 手紙に書いてあった、

呪いのネックレスというのは……♡」

ベ」そうそう♡

身につけてるだけで母乳が出てくるとかいう、

スケベアイテム♡

こいつでルビィと母乳まみれになるまで、

ハメまくったんだろ？」

レ」ちょっと、ベリル♡

その言い方……♡ ふふふ……♡

でも、実際すごいアイテムなのよね……♡

かなりのレアものだとか……♡」

ベ」そんじゃ、俺らもこいつで楽しませてもらうとするか……♡」

レ」賛成♡ さあ、あなた……♡

こっちに来なさい……♡」

ベ」おっと、逃がさねえぞ……♡

ここはベリルランド……♡ 俺の島だ……♡

俺がルールだからな……♡

逆らったら……どうなると思う？」

レ」あなたも無事に、愛する船長の元に返りたいでしょう？」

なら、大人しく言うこと聞きなさいね……♡

ふふふ……♡」

べ「そら、チンポ出せ……♡

さっきからオス臭ぷんぷん、させまくりやがって……♡」

レ「ついさっきまでシていたんでしょう？

匂いでわかるわ……♡

ああ、ムラムラする……♡」

べ「さっきあのネックレスに触れたせいか……♡

発情止まなくなつてよお……♡

ま、性欲強いのは元々だが……♡

それに加えて、ほら……♡」

レ「私たちも、母乳……♡

滲み出てきちゃってるのよ……♡

これ、どうにかしてもらわないとねえ……♡」

べ「ってわけだから……♡

お前のチンポ、この母乳の溢れるおっぱいで……♡」

レ「たくさん搾らせてもらうからね……♡

ほうら……♡」

ベ「あはっ♡ いいチンポしてんじゃねえか……♡

こいつをこうして……っ♡」

レ「おっぱいむにゅんって、被せて、隠してえ……♡」

ベ「同時にパイズリ……♡」

レ「同時にパイズリ……♡」

ベ「あはぁ……っ♡

チンポ、あっつ……♡」

レ「おっぱいに挟まれたぐらいで、

興奮しすぎ……♡」

ベ「ああ……♡ 硬くて、太くて……♡

俺らのむっちり」カップ……♡

ぐりぐり押し退けてきて……♡」

レ「そんなにおっぱい、強く……っ♡

おチンポめり込ませたら……っ♡

んあっ♡」

べ「んっはぁ……っ♡」

レ「はっぁぁん……っ♡」

べ「ふっう、ふうう……♡

あぁ、母乳……っ♡ 溢れちゃった……♡」

レ「本当に、すごいわね……っ♡

さっきの呪いのネックレス……っ♡

一度触れただけでこうだなんて……っ♡」

べ「んはぁ……♡

強くチンポ搾った分だけ、こっちも母乳が……♡

とんだスケベアイテムだな……♡」

レ「ほら、あなたもおチンポ出ちゃいそうなんですしょう？

とっととイキなさい♡ ほら、ほらぁ……♡」

べ「俺らの≡母乳パイズリで……♡

みっともなく、チンポイケ……♡

チンポイケ……♡」

レ「出せ♡ 出せ……♡

イキなさい……っ♡」

ベ「ははっ、すげえ量、溢れて……っ♡」

レ「ああ、たっぷりザー汁、もったいなあい♡」

ベ「っはあ……♡

このままチンポ、中まで啜ってやる……♡」

レ「出し損ねた分まで、しっかり吸って……♡

おチンポきれいにしてあげる……っ♡」

ベ「っはあ……♡」

レ「んっうん……っ♡」

ベ「んぐっ♡ んぐきゅっ♡ んぐっきゅん……♡」

レ「ぐっきゅ♡ んぐきゅ♡ んぐぐん……っ♡」

ベ「っはあああ……♡

ああ、いい味だ……♡」

レ「この精子の味……♡

ルビィがハマるだけはあるわね……♡」

べ「くくく………♡

いいじゃねえか、お前………♡

ホントに気に入ったぞ………♡」

レ「ルビー一人だけのものにしておくんて、

もったいない………♡

まだまだ私たちが、使ってあげないと、ね………♡」

べ「ほうれ………♡

おっばい、好きなんだろ………♡

顔に乗つけてやるよ………♡」

レ「お顔、四つのおっばいに包み込まれて………♡

むにゅむにゅ、ぱふぱふ………♡

気持ちいい?」

べ「っはぁ………♡

母乳もまだまだ出るみたいだから………♡

たっぷり楽しむといい………っ♡」

レ「もちろん、おチンポもお………♡

こうしてしこしこ………♡

二人でいっしょに、しごいてあげる………♡」

べ「顔面おっぱいに包まれながら、

幸せチンポコキ……♡

ルビィのことなんか忘れちまうぐらい、

とろけさせてやる……♡」

レ「おチンポいい♡ おチンポいい♡

おっぱいたくさん、味わいなさい……♡

ほうら……♡」

べ「ほら、ここなんてどうだ？

さっきちゅうちゅう吸ってやった、

真っ赤な亀頭……♡

指輪つかでちゅこちゅこちゅこちゅこ……♡」

レ「私は根元……♡

キンタマ指先で撫で撫でしながら……♡

おチンポこすこす……♡」

べ「チンポぬるぬるで……♡

くちゅくちゅエロい音鳴らしながらしこしこ……♡

すげえだろ……♡」

レ「キンタマザー汁あつという間に昇ってきちゃうわねえ……♡

ザーメン漏れちゃうって、びくびく……♡」

ベ「んっぁ……っ♡ こっちも……っ♡

っふううう……♡

おっぱい顔に押し付ける度に、

母乳が溢れてよ……♡

はは、顔中どろどろだ……♡」

レ「だけどあなたは、それが気持ちいい……♡

私たちも、そんなあなたを見ると、

とっても楽しいわ……♡」

ベ「さぁ……♡

ダブルぱふぱふチンポ手コキで……♡

ザー汁漏らせ……♡」

レ「好きなだけ出しちゃいなさあい……♡」

ベ「イケ♡ イケ♡ イケ♡ イケ……っ♡」

レ「出せ、出せ、出せ、出せ……っ♡」

ベ「っはぁ……♡

またたつぷりと漏らしやがって……♡

しかも、なんて顔だ……♡」

レ「幸せそうにとろかせて……♡

そんな顔、見せられたらぁ……♡」

ベ「まだまだ離してやれねえなぁ……♡

くくくく……♡」

レ「まだまだ離してやれないわね……♡

ふふふふ……♡」

● 第3章

ベ「はぁぁ〜……♡」

レ「は〜ぁぁ……♡」

ベ「そろ……♡

チンポまた、しこしこって……♡」

レ「いっぱいいってあげるっ……♡」

ベ「出したばかりなのに、こんなに熱くて、硬くて……♡

こっちの方までいい男ってかぁ？

くく……♡」

レ「なら、私たちも……♡

男を気持ちよくしてやれる、いい女っぷり……♡

見せてやらないとねえ……♡」

ベ「はは……♡

チンポびくびく、簡単に震えて、感じまくりい……♡」

レ「お耳弱いんだあ……♡

かわいいところもあるのねえ、キミってえ……♡」

ベ「チンポ、あつつう……っ♡

ぶっとくて、おっきくて、かあっこいいぞお……♡」

レ「そんなにたくましいおチンポ見せつけられたら、

私たちも……♡」

ベ「はっあああ……♡

母乳いっぱい噴き出すぐらい、興奮しちゃうだろ……っ♡」

レ「身体中母乳まみれて、あったかあいねえ……♡」

ベ「我慢汁もだらだら、先端から溢れて、こぼれて……♡」

レ「私たちの手、べとべとに汚してくれちゃってえ……♡」

ベ「はは、腰へこ始まったぞ……♡

イキたいか？ 出したいか？」

レ「いいわよ、イッちゃって……♡」

ほら、おチンポもっと、熱くしてえ……♡」

ベ「母乳いっぱいぶっかけてやるよ……♡」

今までルビイのばっか浴びてきたんだろ……？

そいつ、上書きしてやっからさ……♡」

レ「ルビイのじゃなくて、私たち……♡」

レッドとベリルの母乳の匂い……♡

身体中に染みつかせて……♡」

ベ「チンポ、射精しろ……♡」

レ「おチンポ、射精して……♡」

ベ「イケ♡ イケ♡ 出せ♡ 出せ♡

チンポイケ♡ チンポイケ……♡」

レ「お射精どうぞ♡ ぴゅっぴゅぶっぞお♡

出せ♡ 出せ♡ 出せ♡ 出せえ……♡」

べ「びゅるるうう………♡ びゅぶぶう………♡」

レ「びゅっびゅっびゅう………♡ びゅーう………♡」

べ「チンポお漏らし気持ちいいでちゅねえ………♡

チンポイクイク、お射精最高お………♡」

レ「おっきなおっぱいのお姉さんに、

たくさん甘えながらのびゅっぴゅ………♡

キンタマぞくぞくになっちゃいまちゅねえ………♡」

べ「だから、ほうら………♡

お次はこっちい………♡

母乳いっぱいごくごく飲みながらあ………♡」

レ「また濃おいおチンポザー汁………♡

びゅばびゅば吐き出しちゃいまちようねえ………♡」

べ「はっああ………♡」

レ「んっあん………♡」

べ「あは♡ おっぱい差し出されて、

あつという間に乳首にぱっくん……♡

オスの本能全開でちゅねえ……♡」

レ「仕方ないでちゅよねえ……♡

男の子はあ、おっぱいが目の前にあったら、

ぜったい揉むか触るか、ちゅうちゅう吸うか、

したくなっちゃう生き物なんでちゅもんねえ……♡」

べ「っはっああ……♡

母乳たくさん、プレゼントしてあげまちゅからねえ……♡」

レ「母乳で溺れて、頭の中、

ミルク色になっちゃうぐらい、たっくん……♡

ちゅぱちゅぱぐくぐくしちやいまちようねえ……♡」

べ「よちよち♡ よちよち♡

いっい、いっいお……♡」

レ「おチンポむくむくでえ、かあっこいいでちゅよお……♡

よちよち……♡」

べ「またザーメン出し出したくなっちゃいまちたかあ……♡」

レ「キンタマから精液どくどく昇ってきてえ……♡

先走りのおつゆ、とろん、とろおん……♡」

べ」「にゆるにゆるチンポから、お射精ぴゅっぴゅ、

したいんでちゅねえ……♡」

レ「どうぞ、どうぞお……♡

好きな時に、おチンポぴゅっぴゅ……♡

イクイクどうぞお……♡」

べ」「いっぱい出せるチンポ、かあっ……♡

たくさんぴゅっぴゅ出来るチンポ、だあい好き……♡」

レ「かっ……いいお射精、たくさん見せてくだちゃいねえ……♡」

べ」「ほうら、ほうら……♡

おチンポイクイク♡ チンポイク♡

チンポイク……♡」

レ「いっけ♡ いっけ♡

出あせ♡ 出あせ♡」

べ「おチンポぴゅっぴゅっぴゅ……♡」

レ「おチンポぴゅっぴゅっぴゅ……♡」

く「びゅー……♡ びゅー……♡ びゅううう……♡」

レ「どっ♡どっ♡どっ♡どっ♡どっ♡……♡

っあん……っ♡」

べ「んっはぁ……っ♡

イキながら、チンポどくどく……♡

お射精上手でちゅねえ……♡」

レ「優秀おチンポ持つてるキミはぁ……♡

やっぱり、私たち好みのいい男お……♡

まだまだ逃がしてあげられまちなねえ……♡」

べ「もっとたくさんチンポイクイクしちやいまちようねえ……♡

脳みそとろけて、なあんにも考えられなくなるまで……♡

たっくさあん……♡

くくくくく……♡」

● 第4章

べ「くく……♡

赤ちゃんプレイも飽きたことだし……♡

そろそろ、おっぱじめるか……♡

お前のチンポ……♡ 俺が食べてやる……♡」

レ「あらあらあ……♡

よかったわねえ♡ イライラおチンポ、

あったかおまんこで気持ちよくしてもらえるなんて……♡」

べ「そろそろチンポも限界だろ？

最後にいっちゃん気持ちいい穴で、

感じさせてやるからよお……♡

ルビィのことなんか忘れるぐらいのセックス……♡

せいぜい楽しみやがれ……っ♡

んっい……っ♡」

レ「ベリルの容赦のない杭打ち騎乗位でえ……っ♡

よわよわおチンポ、あっという間にお漏らしさせられちゃいましょうね

え……っ♡」

ベ「行くぞ……っ♡」

ベ「くっあ……っ♡ うっ、ぐう……っ♡

はっあああ……っ♡

これが、チンポ……っ♡

チンポ、中に入って……っ♡」

レ「ほうら、入ってく♡ 入ってく……♡

あなたのおチンポ、ベリルの中にずぶずぶじゅっぶう……♡

この島の支配者の初めておまんこ、

奪っちゃってるう……っ♡」

ベ「くっうん……っ♡

ははあ……っ♡ なる、ほどお……♡

こいつがチンポの感触か……っ♡

悪くねえ、じゃねえか……っ♡　っふう、っふう……っ♡」

レ「んう？　どうしたの？

ええ、そうよ♡　ベリルは処女だったの♡

今初めて、男のおチンポ、中に迎え入れたの♡

ちなみに、私もね♡

あなたみたいないい男がなかなか見つからなくてねえ……♡」

ベ「お前みたいないい男を自分のもんに出来るなら、

処女ぐらいどうってことないさ……♡

お前にはそれだけの価値がある……っ♡

例えば実の妹のルビィからだろうと……っ♡」

レ「海賊らしく、奪い取るだけの価値がね……♡

さあ、ベリル♡

やっちゃんさっ♡」

ベ「言われなくても……っ♡

そうら……っ♡　おまんこっ、ぱんぱん……っ♡

叩きつけっ、ピストン……っ♡

くっううう……っ♡　っおお……っ♡

チンポっ、ぐりゅりゅ……っ♡

まんこ、えぐれ……っ♡ ほっおう……っ♡

はっああ……っ♡」

レ「ほらほら♡ おチンポぱんぱん♡

おまんこどっちゅん♡ ばっちゅん♡ ずっちゅん♡

ルビィに負けないぐらいのデカ乳、ゆさゆさ揺らしながら……っ♡

おチンポぐちゅぐちゅ、たっぷりハメハメ……っ♡

愛液にゆるにゆるおチンポに絡ませて、

ずっぶん、ぐっぶん……っ♡」

べ「くうううっ、ほっおお……っ♡

ああ、いいところ、突いてきやがる……っ♡

いい男ってのは、チンポまでっ、いい具合ってかぁ……っ♡

ルビィがあんなにぞっこんになる、わけだ……っ♡

っおお……っ♡

そら、そら、どうだ……っ♡

自慢のデカ尻、ずっしり叩きつけて……っ♡

チンポ締め付け、杭打ちピストン……っ♡

ザーメンあつという間に搾られて、

漏れてきちまいそうだろお……っ♡

はっはぁ……っ♡

っはぁぁ……♡

いいんだぞ、いつでも出して……っ♡

我慢なんてするんじゃない……っ♡

俺のまんこの快感に負けてえ……♡

みっともなくザー汁吐き出しちまえ……っ♡
「♡」

レ「ベリルの力強い騎乗位で、あなたのおチンポ、

一番奥にぶっちゅり届いちゃってるの、わかるでしょ……？

そこにびゅーびゅーたくさん出すの……♡

一番奥に精液叩きつけるみたいになぶちまけて♡

敏感おチンポ、おまんこひだひだににゅっぷり包まれて、

ぞくぞくいっぱい、気持ちよくなっちゃえ……っ♡
「♡」

へ「いっっちも、っおお……っ♡

相当、ヤバいことになってきた……っ♡

んっおっ、ほっおお……っ♡

チンポっ、いじめてるだけだつてのに……っ♡

母乳、漏れ……っ♡

んうっおっおお……っ♡

っああ、気持ちいい……っ♡

お前のチンポっ、すごく、いい……っ♡

んうっおっお……っ♡

レ「あは……♡　すごいわねえ……♡

ベリルをここまで追い込むなんて……♡

なら、二人いっしょにイッちゃいなさい……♡

この世の中で一番気持ちいい射精……♡

アクメまんこに種付け中出し……っ♡

ペロキスしてもらいながら、どくどくびゅーびゅー♡

たっぷり中出ししちやいなさい……♡

へ「おっ、おっ、おっ、おっ♡

イグイグっ、イッグっ、んいっぐっ♡

くうううう……っ♡

処女まんこっ♡ 浮気チンポでイカされるっ♡

っおおっ、くううっ♡

イグイグっ、ひっぐうう……っ♡

んっううおお……っ♡

んっううおおお……っ♡「♡」

べ」んっおおっおおお……っ♡

んううおっ、ほっおおおお……っ♡

うっっおおお……っ♡ ああっ♡

うっああっ♡ 熱……っ♡ あっづ……っ♡

奥にっ、どぶどぶっ、いっぱい出て……っ♡

くううっ、はっああ、ふううっ、おおお……っ♡

っああああ……っ♡

っはあ、っはあ、っはあ、はああ……っ♡

んっううん……っ♡

ふう、ふう、ふう、ふううう……♡

はああああ……♡」

レ「ふふふ……♡ 休んでいる暇はないわよ♡

今度は私の処女おまんこも、味わってもらえないわいとね……♡

んっふ……っ♡ つふう、っほお……♡

行くわよお……♡」

べ「んっいい……っ♡

入る……っ♡ 入っていく、わ……っ♡

これが、ホントのセックスう……っ♡」

レ「そうら……♡ 入ってくぞ……♡

誰も知らないまんこの感触……♡

チンポでゆっくり感じながら、奥まで全部……♡」

レ「っおっおっおお……っ♡

っはあっ、っふう、ふううう……っ♡

これが男の……♡ あなたのおチンポなのね……っ♡

なるほど、これは確かに……♡ 無理にだって、

自分の物にしたくなっちゃうわねえ……っ♡

っ おおっ おお……っ♡

おチンポ、いい……っ♡

ほっ おおおお……っ♡」

べ」はは……っ♡ どうだあ？

俺とレッドのまんこの感触、どう違うのか、

ちゃんとなわかってるか？

それとも、敏感チンポ、

まんこでぐぽぐぽされるのが気持ちよすぎて、

そんなこと考えてる暇もないかあ？

くくく……っ♡

ああ、感じまくりの情けない顔……っ♡

興奮させてきやがってよお……っ♡」

レ「ふっ♡ ふっ♡ ふっ♡ ふううう……っ♡

こちらも、あなたのおチンポ、んっお……っ♡

相当、気持ちいいわ……っ♡

おまんこ腰振り、止められない……っ♡

びったん、びったん、杭打ちばちゅばちゅう……♡

へっぁぁ……っ♡

くっううん……っ♡」

べ「はは……♡ お前のチンポ、かなりの業物だな……♡

ルビィをからかって遊んでやろうって、

思ってたぐらいだったが……♡

俺もレッドも、ますます本気になってきた……♡

本気でお前のこと……♡

盗んでやりたくなってきた……♡

お前も、お前のチンポも……♡

全部、俺たちのものによお……♡

そしたらずうっと、俺たちとハメ放題だぞ……♡

ククク……♡」

レ「本気で私たちの所有物になればぁ……っ♡

んっ、おっ、くうんっ♡

はっぁぁぁ……っ♡ あなたの大好きな……っ♡

母乳まみれのミルクえっちもお……♡

今までの倍、楽しめるってことだから……♡

お得でしょう……？ んっうん……♡

おっおっおお……♡」

べ」だから、さあ……♡

とっとと出せよ……♡ キンタマ汁、また出しちまえ……♡

いっぱい出せ……♡

たっぷり出せ……♡

キンタマ空っぽになるまで、出し尽くせ……♡

チンポイケ♡ チンポイケ♡ チンポイケえ……♡」

レ」おっおっおっ……♡

来たっ♡ 来たっ♡ おまんこっ、イッグ……♡

おっ♡ おっ♡ おっ♡ おっおお……♡

っおっおっ……♡

来る来る来るっ♡ イグイグ♡ ひっぐう……♡

出してっ♡ あなたもっ、いっぱい中出し……♡

んううおっ♡くううおっ♡ほおおおお……っ♡
「♡」

レ「んうおっおおっおおっ……っ♡

んいっ♡んっひっ♡くううっおおお……っ♡
っおっおおお……っ♡

出るっ♡出っ♡べんべんっ♡

んうおっおお……っ♡

子宮にっ、ぶっびゅううう……っ♡

あったかいの、どぼどぼ出てる……っ♡

くううん……♡

っふう、っふう、ふう……♡

はっああ……♡

はあ、はあ、はあああ……っ♡

んっはあ……♡」

べ「俺たちの処女まんこ、どうだった……？」

最高だったろ……♡くくく……♡」

レ「私たちも、あなたのおチンポで処女喪失……♡

最高だったわ……♡

だから、さっきの私たちの言葉……♡

本気で考えて……んう？

あなた、それって……♡

あっはぁ……っ♡「

べ」おいおい、マジかよお前……っ♡

くくく……っ♡ ははははは……っ♡「♡

● 第5章

ベ「今ので終わりと思ったが……♡

まだチンポ、勃起したままじゃねえか……♡」

レ「あら、本当……♡ それなら、もう一度ずつぶらい……♡

おチンポ使わせてもらうかなあ……♡」

ベ「ほら、こっち来い……っ♡

どうだ……？

この窓からは、街が一望できるんだ……♡

俺が治める街がな……♡

この街を見下ろしながら……♡

チンポハメるってのも、いいだろう？」

レ「今度は私たちの、もう一つの処女穴……♡

お尻の穴におチンポ、突っ込んでもらうわよ♡

二人分、二つの処女、奪えるなんて……♡

なんて幸せな男……♡」

べ「ほら、チンポまだ、ギンギンなんだ♡

まだ出し足りないんだろ？ 遠慮するなよ♡

一気に来い……♡

ん……っ、そう、腰、がっしり掴んで……っ♡

ケツ穴にチンポ、一気に……っ♡

んっお……っ♡

っおおっおおっおおっおお……っ♡

んっおっ、太いの、きったあ……っ♡

ふっ、ふっ、ふっ、ふっうう……っ♡

っああ、お前のチンポお……♡

あっっあつで……っ♡ うお……っ！？

っおおお……っ♡ 待て、まだ、余韻……っ♡

チンポ入れられて気持ちいいのっ♡

残ってる、から……っ♡ ほっおお……っ♡

くうっうううん……っ♡」

レ「あは……っ♡ あなたもやる気が出てきたみたいね……♡

ベリルのお尻、そんなに勢いよく犯しちゃうなんて……♡

なら、私もお尻……♡ 楽しんじゃおうかなあ♡

んふふ……♡ ただし、楽しむのはあ……♡

あなたのお尻のお味の方……♡ だけど……♡

んうえあゝ……♡

ケツ穴ほじほじいっぱい舐めて、

おチンポもつとぶっとく勃起させてあげる♡

はゝあ……♡」

ベ「おおっおおっおおお……っ♡

チンポっ♡ 熱いっ♡ チンポっ♡ ぶっといのっ♡

ずっぼんっ♡ ずっぼんっ♡

出たりっ♡ 入ったりいい……っ♡

ケツ穴交尾っ♡ 気持ちいいっ♡

くうううん……っ♡

っおおっおおお……っ♡

まんこでするのもっ、よかったのに……っ♡

ケツ穴はっ♡ もっと……っ♡

こっちでするのもっ、好き……っ♡「♡」

レ「ふふふ……♡ ベリルのお尻……♡

あなたも楽しんでるみたいね……♡

ケツ穴ピストンぱんするごとに……♡

あなたのお尻もきゅうきゅう締まって、

私のベロ、締め付けてくる……♡「♡」

べ「っおおお……っ♡

ケツ穴、拡がってえ……っ♡

はっ、くっ、はっ、はっああ……っ♡

んうっおおっ、うううん……っ♡

んうっおおっおおっおお……っ♡

っああ、おっぱいっ、いっぱい漏れる……っ♡

母乳噴き出しアナルセックスっ、気持ちいい……っ♡

っくううっ、おっおおお……っ♡

この、俺が……っ♡

こんなに感じちまうなんて……っ♡

チンポ、すっげ……っ♡ んううおお……っ♡「

レ「ふふふ……♡

ベリル、お尻の穴でイッちゃいそうね……♡

なら、イカせてあげなさい……っ♡

あなたももう出ちゃいそうなんでしょう？

そのまま精子、お尻にいっぱい注ぎ込んで……♡

ベリルをあなたのチンポで屈服させてみなさい……♡

自分が治める街を見下ろしながら、

チンポハメられて、たくさんよがって……♡

おっぱいミルク漏らしながらイキまくる、

恥ずかしい姿……っ♡

わからせてあげなさい……っ♡「

べ「っおおっおお……っ♡

イグイグイグイグっ♡ ケツ穴イググっ♡

チンポっ♡ アナルチンポっ♡

イググ♡ イググっ♡ うんうおっ♡

んううおっ♡ ほっおっおおお……っ♡

くっうううん……っ♡ うっおっ♡

ほっおっおお……っ♡

お尻ッ、熱いの、いっぱい、出て……っ♡

ケツ穴中出し……っ♡ これ、やっペ……っ♡

はっああ……♡ うううん……♡

んっおあ……っ♡

ふっ、くっ、はあああ……っ♡

はあ、はあ……♡
「

レ「ふふふ……♡

もう何発出したかわからないのに……♡

ペリルのお尻から、すごい量が溢れてきて……♡

ああ、私も楽しみになってきた……♡

さあ、また私の番……♡

私のお尻も、あなたのおチンポでたっくさん……♡

気持ちよくしてちょうだい――

んうっ!?

っおっおおっおおお……っ♡

んうっ、んっひい……っ♡

ちよ、ちよっと……っ♡ まだ人が、喋ってる途中――

っおおっっおおおお……っ♡

んうおおっおおお……っ♡

んっひいひい……っ♡ くっうん……っ♡」

べ」はは……♡ そいつがお前の本性か？

人のケツ穴、なんだと思ってやがんだ……♡

お前のチンポの性処理用の、生オナホじゃあねんだぞ……♡

まったくよお……♡

っはぁ……♡ そら、俺も……♡

お前の尻穴べっちより舐めて、

チンポ応援してやっからさぁ……♡」

レ」ほっおおっおおお……っ♡

お尻の、穴……っ♡ めくれっ♡ めくれるっ♡

中身っ♡ 出てきちゃいそう……っ♡

んっおっおっおっ……っ♡

くううううん……っ♡

んっおっおっおっ……っ♡」

べ「はは……っ♡

肩をがっちり掴んで、窓に身体押し付けて、

ばっちゅんばっちゅん、強おい交尾……♡

まんこもアナルの自分のもの……♡

チンポザー汁中出しされるだけのザーメン排泄穴だって……♡

刻みつけるみてえなピストン……っ♡

ぐぼぐぼじゅぼじゅぽカッコいい腰振りい……♡」

レ「んっおっおっおっ……っ♡

おっへあ……っ♡ んっいいい……っ♡

頭っ♡ 真っ白っ♡ なっちやう……っ♡

お尻が気持ちよくなって……っ♡

全部っ、どうしてもよくなる……っ♡

あなたのおチンポっ♡ おチンポっ♡

ハメてもらえればそれでってえ……っ♡

んうおおっおおお……っ♡

チンポっ♡ 堕ちるっ♡

尻穴堕ちちゃう……っ♡ お尻アクメ……っ♡

昇ってきてえ……っ♡

んっおおっおおお……っ♡

ほっおおっおおお……っ♡」

べ」そら♡ イケイケ♡ イケよ……っ♡

お前もレッドも、いっしょにイケ……っ♡

チンポとケツ穴同時アクメで、ザーメンぶっこめ……っ♡

オスとメス、この世の中でどっちが上か……っ♡

その身体にわからせてやれ……っ♡

ほら、ほら、さあ、さあ……っ♡

チンポイケ、チンポイケ♡ 出せ出せ出せ出せ……っ♡」

レ「んうおおおっおおっおおお……っ♡

イグイグイグイグっ♡ んいっぐうっ♡

ひっぐううううう……っ♡

お尻イグっ♡ アナルイグっ♡ お尻でイグっ♡

処女ケツアクメっ♡ 初めておチンポ突っ込まれてっ♡

イグ♡ イグうっ♡ イグイグイグイグっ♡

んうおっおっおっおっ……っ♡」

レ「ううおっおっ……っ♡ ほおっおっおっ……っ♡

っおっおっおっ……っ♡ 出るっ♡ 出るっ♡

おっばい出るう……っ♡

お尻に熱いのいっばい注がれて……っ♡

おっばい、溢れちゃううう……っ♡

はっ、ふっ、はっ、はっああ……っ♡

アナルセックス……っ♡ とっても、すごい……っ♡

これが、あなたのおチンポの本当の強さ……っ♡

あはぁ……っ♡ やっぱりこれは……っ♡

ルビィなんかにはもったいない……っ♡

ほら、もう一回よ……っ♡

このままもう一度、私とアナル交尾い……♡」

べ「おいおい待てよ、レッド……♡」

次は俺だろ？俺のまんこ、またさびしがつてんだよ……♡

次は俺のまんこにチンポ、ぶっ込んで……♡」

ル「ただいまあゝ。

あゝ、大変だったあ。

結局ただの数え間違いでさあ。

説教してたら遅くなっちゃって――って……。

んなあああああつ！？」

●第6章

ル「……テ・メ・エッらっあああゝっ。

何してくれとんじゃあああゝっ！！

ってかつ、お前っ。

お前はこのルビイ様の彼氏だろうがあつ。

なあにチンポハメちらかしたるんじゃっ、こらあゝっ。

クソ姉どももっ、手え出すなって言っただろおおっ。

妊娠もしてこれから婚約結婚も待ってる相手のチンポっ、

勝手に食いまくってるんじゃあねええええいっ！」

べ「わりいな、ルビイ♡

っいやっちまった♡ あは♡」

ル「っい、じゃあねええだろうがああっ！

やっちまったじゃねえんだよっ。

脳筋バカ女あっ」

レ「あんまりこの人が魅力的でねえ。

ついおせっせしてしまいましたわっ♡

うふふ♡」

ル「何がおせっせじゃああゝっ！

今更上品ぶってんじゃねえわっ。

こんのカキタレがああっ。

あああもおおおっ。

二人して処女のくせに、

脳みそドピンク色ボケ淫乱メス豚ドビッチだったからっ。

手え出すなって言っといたのにいいい……っ。

呪いのブレスレットまで使ってやがるしよおおおおっ。」

べ「もう処女じゃあねえしっ♡

なあ、レッド？」

レ「ええ、ベリル♡

前も後ろも、しっかり奪ってもらったわ♡」

ル「ぬわぁんだとおおおお……っ！っ？

むっきいいいいっ」

ベ「だいたい、お前のもんだから手え出しちゃいけねえってのも、俺たちにとっちゃあ筋が通らねえ。」

レ「なにせ私たちはみんな海賊。

欲しいものは奪う。それだけでしょ？」

ル「つかあゝ……っ。

二人がそのつもりなら、わかったよ……っ。

そいつはルビイのもなんだっ。

あんたたちから奪い返してやるっ。

ルビイの魅力を再認識させてやるわっ」

ベ「ははっ。その意気だぞ、ルビイ。」

レ「なら、私たちの中で誰が一番、

彼にとって好ましいか……。

その彼自身に決めてもらいましょう。」

ル「おっけい。

さあ、キミ……♡

今日やらかしたことは許してあげっからあ……♡

またルビイのところに戻ってきて♡ ね？

ほうら……♡ キミのだあい好きなおっぱいミルク……♡

呪いのアイテムなんか関係ない、

天然妊娠母乳だぞ♡

いっぱい飲んで♡ ごくごく飲んで♡

あん♡♡ あはあ♡♡

あっという間に飛びついて……♡♡

ほうらやっぱり、ルビィが一番……♡♡

くううん……♡♡「♡♡」

べ「いやいや♡ ルビィなんかじゃあ負けないさ♡

ほら、こっちのおっぱいもおいしいぞ♡

んっうん♡♡

あは♡♡ ほら、あっさり乗り換えた♡」

ル「んっ。き、キミねえ……っ。」

レ「目の前に別のおっぱいがあったら、

飲み比べしたくなるのが男の子なのよ♡

はい、こっちもどうぞ♡

っあん♡♡ ほらね♡♡ んっうん……♡♡「♡♡」

ル「い、いやいや……飲み比べしてるだけっしょ♡

きちんと比べないと、

ルビイのが一番だってわからないからねえ……♡

必要必要……♡ んっふん♡

だから、ほら……♡

ルビイのいっぱい、ごくごく、飲んで……♡

くうん……っ♡

べ「次はこっちだぞ♡ ほら♡

んっく、はぁ……♡」

レ「お口直しに私をどうぞ♡

後回しなのは、一番おいしいからでしょう？

っあんっ、あはぁ……♡」

ル「き、キミい……？

ま、まあいいや……♡

おっぱい好きなのは、知ってたことだし……♡

それに、母乳の味だけで決めるなんてこと、

ないっしょ？

やっぱごういうのはさぁ……♡

おチンポ搾りの実力が、全部っしょ……♡

ほら、こんなにおつきくしちゃってえ……♡

ルビィの母乳で興奮しちゃってんだね♡

ルビィがおチンポ、気持ちよくしてあげ、ぐえっ!?!」

べ「おっと、待てよ♡

お前にチンポの独占なんかさせねえぞ？

油断も隙もねえなあ♡」

ル「ちょっ、ベリル姉っ。

押し退けじゃねえってのっ。

ふぎゅっ!?!」

レ「そうそう♡ おチンポしてあげるのも、

ちゃあんと三人で、同時にしてあげないとね♡

しっかり比べてもらわないと、勝負にならないでしょ?」

べ「そう言ってきっちり、真ん中占領しやがって……。

まあいいや♡ なら、レッドの言うとおり……♡

三人同時におっぱい押し付けパイズリで、

チンポ搾ってやる……♡」

ル「誰のおっぱいが一番気持ちいいのか、

しっかり比べなさいよ?」

ねえ、キミい〜？

誰のが一番か……しっかりとねえ〜？」

レ「さあ、行くわよお………♡

おっぱい同時にい………♡」

ル「むっぎゅっ〜………♡」

ベ「むっぎゅっ〜………♡」

レ「むっぎゅっ〜………♡」

ル「ほら、ほら、ほうら………♡

おっぱい、ぐにゅぐにゅ〜♡

おチンポに押し付けてえ、いいこ、いいこお………♡

パイズリ好きだもんねえ、キミはさあ〜………♡

毎日パイズリせがんでくるもんだからあ、

ルビィのおっぱい、大きくなってきちゃってんだよお〜？

知ってるでしょ〜？ んふふ………♡

ほら………♡

んっふう………♡ だあい好きな母乳も追加してえ………♡

もっとぬるぬるの、気持ちいいパイズリい……♡」

べ」「こっちだって、おっぱいにゃ自信、あっからなあ……♡

負けねえぞ……♡

それに……♡

っはぁ……♡ 母乳はこっちもあるんだぜ……♡」

レ「条件は互角なわけだから……♡

あとはあなたが決めるだけ……♡

どのおっぱいが一番か、ってね……♡

っふう……♡ ほら、母乳たっぷりパイズリ……♡

誰のが好き？」

ル「っくう……♡

おチンポ、すっごい熱くなってる……♡

興奮しすぎだろお、キミってばさぁ……♡

いつもの二倍のおっぱい、そんなにいいのかよお、この野郎……♡

それなら……♡

ルビィがおっぱいだけじゃあないってこと、

見せてやるよお……♡

パイズリでガッチガチになってるおチンポ……♡

ルビィのお口でえ……っ♡

んうぁ……っ♡

っはぁ……っ♡ どうだっ♡

思い出したかっ♡ ルビィのパイズリフェラの気持ちよさっ♡」

べ」ははっ、やるなぁ、ルビィ♡

でも、それならこっちも同じこと、するだけだ♡

っはぁ……♡

な？ こっちも気持ちいいだろ？」

レ「んうぁ……♡

っはぁ……♡ そういうこと♡

条件はとことん互角ねえ♡

どうしましょ♡」

ル「くうううう……っ。

ええいっ、もうっ、めんどくさいっ。

とにかくキミはっ、ルビィのものなのっ♡

ルビィが一番好きでっ、気持ちいいって……っ♡

そう言えっのっ♡

船長命令だかんなくっ♡

はっああ……っ♡ じゃないとおチンポ、

とにかくめちやくちやにしちやうからあっ♡」

べ「あはっ♡ いいぜ、めちやくちやだなっ♡

チンポバカになるまで、思いっきりだ……っ♡」

レ「わかりやすく助かるわっ♡

おチンポひたすら、感じさせまくりい……っ♡」

ル「イケっ♡ イケよっ♡ イッちゃえイッちゃえっ♡

チンポイケっ♡ チンポイケえっ♡

ルビィのお口でイッちゃえよおっ♡」

べ「三倍パイズリフェラで、チンポ汁出せ……っ♡

いっぱい出せ、ぶちまけろ……っ♡」

レ「一番パイズリフェラが上手な人に、射精しなさい……っ♡

ほら、イケ、イケ、イケえ……♡」

ル「んうあっ!?! わぷっ♡ んっひいっ♡」

べ「んなっー？　ちょっ、おま……っ♡

んっぷっ♡」

レ「やんっ♡　お顔っ♡　いっぱい……っ♡」

ル「んっ、っふう、はぁぁ……っ♡

お顔、べとべと……っ♡　くっさいザーメン……っ♡

いっぱい顔射されちゃったぁ……っ♡

でも、この匂い、好き……っ♡」

べ「お前、なぁ……っ♡

口に出せてレッドが言っただろ……っ♡」

レ「まだ決められなかったってこと？

ふふ……っ♡　なら、それでもいいわ……っ♡

それならまた別の方法で、誘惑する、だぁけ……っ♡

きやつー！？」

ル「あらぁ？　ごめんなさあい、レッド姉？

お尻がおっきくて、ぶつかっちゃったわぁん♡

おほっー！？」

べ「右に同じっってな♡

今度は俺が真ん中だ♡　順々だろ？」

レ「ふん……。ま、仕方ないわね……。」

ル「仕方なくないっ。くっそお……。」

ベ「そら、舌出せ……♡

いっ……。ぱい、キスしてやっから……。♡

ベリル様と濃厚べろちゅーで……。♡

心も体もチンポもキンタマも、もっと熱くなろうな……。♡」

レ「私たちも、いっぱい気も良くしてあげるからね？」

ベリルのことばかり考えちゃダメよ？」

ル「そうだよ……。っ。」

キミはルビィものだって……。っ。

ちゃんとわかっててよね……。っ。」

ル「んうぁ……。♡」

ベ「んっはぁあ……。♡」

レ「んっうん……。♡」

ベ「っはぁ……。♡

な、キス……。♡ 気持ちいいだろ？

イッたばっかのチンポが、また……♡

気持ちよおくぞくぞくしてきて……♡

たまんねえだろお……♡」

レ「ああ、私もキス、してあげたいわあ……♡

ベリルのわがままのせいで、できないなんて……♡」

ル「だけどその代わり、ほっぺたいっぱいぺろぺろ舐めてあげるから……♡

お口の近くまでいっぱい舐めちゃうから……♡

愛情しっかり、伝えてあげる……♡」

ベ「んっあ……♡

やべ……♡ キス、気持ちよすぎて、また母乳……♡」

レ「私たちも……♡

あなたにぎゅって抱き着いて、ぺろぺろしてると……♡

んっふう……♡ おっぱい、溢れちゃう……♡」

ル「キミの身体にだっぷりぶっかかっちゃうね……♡

どう？ 母乳……あったかい？

んふふ……♡

ルビィのおっぱいで、気持ちよくなってくれてるよねえ？

ねえ？ んふふ……♡」

べ「誰が一番か、決められたか？

……無理だよな♡ ああ、わかってるよ♡」

レ「私たちも、たったこれだけの勝負で決めてもらおうなんて、

思っていないもの……♡」

ル「どんなことしたって……♡

キミはルビィのものだって、思い出させてやるから……♡

だからまだまだもっと、いっぱい……♡

えっちなこと、やらしいこと、ドスケベなことお……♡

いっぱいするからあ……♡」

ル「海賊らしく、キミのこと、奪い取っちゃうからね……♡」

べ「海賊らしく、お前のこと、奪い取ってやるよ……♡」

レ「海賊らしく、あなたのこと、奪い取っちゃうわ……♡」

べ「……んでも、その前にちよいと休憩〜。

なんか飲みに行こうぜ。」

レ「そうね。行きつけの酒場があるの。

案内するわ。着いてきて。」

ル「んな……っ。ちょ、ちょ、ちょお……っ。

ああもうっ、ペースが乱されるゝ……っ。

せっかくやる気出てきたのにゝっ。

くうううう……っ。バカ姉どもめゝ……っ。

こうなりやヤケだっ。

飲むぞおおゝ……っ」

● 第7章

べ「ああ、飲んだ飲んだ〜とお♡」

レ「お酒はひとまず満足ね♡

さて、マスター。いつもの部屋……借りるわよ?」

ル「いつもの部屋あ?

姉さんたち、何言ってるの?

ひっく……」

べ「俺たち専用の部屋があんだよ。

VIPルームってやつがな。

ほら、行くぞ。」

レ「さあ、あなたも♡

着いてきて。ふふふふ……♡」

ル「うっわ……。なあに、ここ。

えらい豪華な部屋……。

ベッドでっけえ……」

べ「だろ？　つまり……そういうことだ♡

おら、お前、こっちに来い♡

はは……♡

酒も飲んで気分も上々……♡

またたんまり搾ってやる……♡

っはっああ……♡

ほら、チンポ出せ……♡

余計な前戯なんかいらねえから、とっととハメんど……♡

今度は対面座位ってやつだ……♡

抱き合って、抱きしめ合って、仲良くスケベしようや♡

なあ……♡

んっお……♡

っおおっおおっおお……♡

はっ、ふっ、ふっうん……♡

ああ、チンポ、気持ちいい……♡

んっうっ、ほっおおお……っ♡

あっへえあ……っ♡

ル「あぁっ、勝手に始めんなっ、こらっっ。

ルビィの彼氏だぞ……っ♡

チンポ勝手にハメんって言ってんだろぅがあ♡

も……っ♡

レ「そうよお……♡ 私だっけしたいの……♡」

ル「ほら、キミ……♡

ベリル姉なんかとのセックス、集中しちやあ……♡

おっぱい飲んで♡ ごくごくちゅうちゅ♡

いっぱい飲んで……♡

ルビィのおっぱいでおチンポ、気持ちよくしてえ……♡

んっうん……♡ あっ、あっ、うんっ♡

あはあ……っ♡

レ「こっちにもおっぱい、あるからねえ……♡

いっぱいぐぐぐしちやおうねえ……♡

うっあん……っ♡

うううん……っ♡

べ」おおっおおお……っ♡

チンポっ、でっけ……っ♡ これ、すごお……っ♡

ちょっと休憩して、酒飲んでる間に……っ♡

キンタマにザーメンっ♡ 溜まりまくりじゃねえか……っ♡ っおおお

……っ♡ ほっおおおお……っ♡

んっ、おっ、んうっおおっ♡ くううう……っ♡

おおっおおっおおお……っ♡

ふっ♡ ふっ♡ ふっ♡ ふっうう……っ♡

っおおおおお……っ♡「♡

ル」っはあ、っはあ、はあああ……っ♡

早くチンポ、イッちゃえよお……っ♡

ベリル姉なんかと長々セックスするんじゃないよお……っ♡

するんならルビイとお……っ♡

らぶらぶ甘々おっぱい交尾、いっぱいしようよお……っ♡

んっうん……っ♡ おっぱい、たくさん出すからあ……っ♡

おおっおお……っ♡

そうやって、ちゅうちゅういっぱい♡

吸ってくればあ……っ♡

おっぱいびゅーびゅー♡ いっぱい出す、からあ……♡

んっううん……っ♡

はっ、ふっ、はっああ……♡」

レ「っあああ……っ♡ おっぱい交互に飲み比べ交尾い……っ♡

一人のおまんこ味わいながら、二人のおっぱい、飲みまくりい……っ♡

うううん……っ♡ ミルクたくさんお漏らしちゃう……っ♡

あっ♡ あっ♡ あああっ♡ んっひいん……っ♡」

べ「っおおお……っ♡ やべっ♡ やっべっ♡

母乳でガチガチバッキバキになったチンポっ♡

こんなのすぐイグっ♡

まんこイグ♡ まんこイグっ♡

んっうううん……っ♡

イグ♡ イグ♡ イグからっ、出せっ♡

出せっ、出せっ、出してっ♡ 出してえ……っ♡

最後にいっぱいべろちゅーするから……っ♡

甘々交尾で中出しキメろお……っ♡

んっうううん……っ♡

ふっうんっ♡ くっうううん……っ♡

んうおおっ♡ んっひいっ♡ おおっおおお……っ♡

どくどく出てる……っ♡ 中出しっ♡ あっっっ♡

へっ、はっ、はっ、はっああ……♡

んっくう……っ♡

はあ、はあ……♡ うあ……っ♡「♡」

ル」はあい、お次は愛しのルビィちゃんですよ♡

本家本元本物らぶらぶ交尾してえ……♡

バカ姉二人のおまんこなんて、

二度と感じなくなっちゃおうねえ……っ♡

っはあ……♡

んふふう……っ♡

んっおお……っ♡

くうううん……っ♡ ほおおっ、ふうううう……っ♡

ああ、彼氏チンポ、気持ちいい……っ♡

やっぱこれだよお……っ♡

キミのチンポが一番なんだからあ……っ♡

ルビィ以外とハメハメするなあ……っ♡

おお、ん、んふ、んお、んう、お、っおお……♡

お、おおっ、ん、んふう、んっ、んお、おん、んう……っ♡

っおおお……っ♡

天然母乳いっぱい出るう……っ♡

ガチ妊娠の母乳だぞお……っ♡

喜べよお……っ♡ んっううん……っ♡

はっあぁっあ……っ♡」

べ」ほうらぁ……♡ ルビィなんかのより、

俺のおっぱいの方が美味しいぞお……♡

飲めよ♡ ほらほらぁ……♡

んうぁ……♡ ちゅうちゅう勢いすっげ……♡

おっぱい出るう……♡

はっあぁぁ……♡」

レ」もっと私のおっぱいも飲んでえ……♡

もっといっぱい、ちゅうちゅうしてえ……♡

んっおお……っ♡

っあぁ、吸われっ♡ すごい強さでえ……♡

くうううん……っ♡」

ル」んお、んふう、うう、うお、おう、んう、ん、んっく、くう……♡

んんんう……♡ んおおおお……♡

っおっおお……っ♡

チンポっ♡ 好きっ♡ チンポ好きっ♡

彼氏チンポっ♡ 気持ちいいよおっ♡

んっううああん……っ♡

んおっ、ん、んお、おん、おお、おん、おお、んっ、んふ♡

んっふ、おお、おお、おおん、んおん……っ♡

はっああああ……っ♡

っああっ、ふううっ、はっあああ……っ♡

だあいちゅきい……♡

へああああ……っ♡ 好きだからあ……っ♡

ルビイのところに戻ってきてよお……♡

ルビイはもう、キミがいないと船長できないよお……♡

毎晩キミといちやいちゃしないとお……♡

船になんか乗ってられないからあ……っ♡

もっといっぱいえっちなことしてあげるからあ……♡

赤ちゃんだっていっぱい産んであげるからあ……♡

だから、願あい……♡

お願い、お願い、お願い、おねがっ、っおおおお……っ♡

チンポっ、中でむくうってっ、強くっ、なって……っ♡

っおおっおおお……っ♡

ん、んお、んっ、うん、おんっ、お、おっ、おんっ♡

おおっ、んっ、んぐっ、んう、んっ……♡

んっううん……っ♡

チンポっ、やっべ……っ♡ 彼氏チンポ……っ♡

強くて、かっこいい……っ♡

っおおっおおっおおお……っ♡「♡」

べ「ああ……♡ またチンポ、射精しそうなんだろ……♡

いいぞ、出せ出せ……♡ キンタマミルクう……♡

ルビイの中で出せえ……♡

ちゅぱちゅぱ乳首吸いながら、チンポびゅーびゅー、漏らせえ……っ♡

っああ……♡「♡」

レ「はっ、んっんっ♡

おっぱい、いっぱい出ちゃう……っ♡

はっああ……♡

出して、出してえ……♡

母乳いっぱい飲みながら、精液出さない……っ♡

んっ♡ おっ、おとおお……っ♡「♡」

ル「おんっ、いや、おん、おんっ、おう、うんっ、お、んっ♡

んっ、うん、おんっ、お、おっ、おんっ♡

っあああ……っ♡ イググっ♡ イググっ♡

ルビイもっ、イグよお……っ♡

イグから出してっ♡ 出してっ♡

ルビイに赤ちゃん種付けした時みたいになっ♡

濃おい精子いい……っ♡

たくさんどびゅどびゅ♡ 出して、出してえ……♡

んうっおお……っ♡ イグイグっ♡ イググっ♡

ほおおおっ、くううん……っ♡

うっおおっ、ほっおおっ、くううっ、うおおお……っ♡

いっぎゅ♡ いっぎゅ♡ いっぎゅっ、いぎゅううう……っ♡

おっ♡ おっ♡ おっ♡ ほおお……っ♡

んうおおおおっ♡ んうんうおおっおおおお……っ♡

あっへああああ……っ♡

んうおおおっ♡ くうんうおおおお……っ♡

ううううっ♡ 子宮っ♡ ごくごくう……♡

赤ちゃん、デキてるのに……っ♡

また嬉しそうに、精液飲んでるう……♡

彼氏ザーメン……っ♡ パパザーメン……っ♡

美味しくてえ……っ♡

ふっ、はっ、ふっ、ふううう……っ♡

っはぁ、っはぁ、はっぁぁぁ……♡

んぁっ。」

レ「はぁい……♡ 最後は私の番……♡

二連続交尾でお疲れのおチンポお……♡

私の中で癒してあげるからねえ……♡

っはっぁん……♡

んうっおおっおお……っ♡

ふっ♡ はっ♡ ふっ♡ ふううう……っ♡

っおおお……っ♡ おチンポっ♡

気持ちいい……っ♡

おっぱい吸われてぞくぞくしっぱなしかったおまんこにっ♡

熱々おチンポっ♡ 効つくう……♡

はっああん……っ♡」

ル」むうう……っ♡

レッド姉のおまんこで、気持ちよさそうな顔してるうう……っ♡

許さんぞお……っ♡ 許さあん……っ♡

おらあ、おっぱい飲めっ♡

ルビィのおっぱいで気持ちよくならないとお♡

許さんぞお……っ♡

んっいいん……っ♡

あはあ♡ そうそう♡

いっぱい飲んでねえ♡

おいちいでちゅかあ♡

んっ♡ んっ♡ っおお……っ♡

っあああ……っ♡」

べ「連続セックスでキンタマも大変だろ……？」

だったら母乳で、キンタマ回復だあ……っ♡

ほら、ごくごく飲んで♡ いっぱい精子、溜め込むんだよ……っ♡

っああ……っ♡ そう、そう……っ♡

たくさん、飲んで……っ♡ 大きくなれよお……っ♡

んっはぁぁ……っ♡「

レ「んうおおっ♡ くううんっ♡ ほっおお……っ♡

あぁっ♡ 密着抱き着き対面交尾い……っ♡

おまんこぱんぱんっ♡ お尻振り振りっ♡

ピストンたくさあん……っ♡

くっううん……っ♡

ドスケベ腰振り止まらないわぁ……♡

はっ♡ ふっ♡ はっ、はっぁぁん……っ♡

ほら、舌、出してえ……♡

エっロおいキス、いっぱいしてえ……っ♡

おチンポ元気にしてあげるからぁ……♡

っおおお……っ♡

おチンポびくびく、反応して……っ♡

いい気持ちい……っ♡「

ル「ほらぁ♡ ほらぁ♡

ルビィのおっぱい♡ 彼女おっぱい、ちゅうちゅうちゅう……っ♡

っおおお……♡

はっぁぁぁ……♡ これだけいっぱい飲んだらぁ……♡

また出るでしょお……っ♡

どくどくびゅーびゅー♡ ザーメンどっぶん……っ♡

レッド姉のおまんこにい、出しちゃえよお……っ♡

ほら、ほらぁ……っ♡」

べ」ああ、そうだ……っ♡

出しちまええ……っ♡ レッドの中で、

チンポ気持ちよおく漏らしちまええ……っ♡

おっぱいごくごく飲みながら、

また、チンポイケ、チンポイケえ……っ♡

おお……っ♡」

レ「んっうおっ♡ イグイグっ♡ おまんこイグ……っ♡

密着抱き着きらぶらぶ交尾でっ♡ おまんこアクメえっ♡

はっぁああぁ……っ♡

出してっ♡ 出してっ♡ 出せっ♡ 出しなさい……っ♡

私の中につ♡ おチンポ幸せびゅーびゅー射精いい……っ♡

んっううう……っ♡ イグイグイグイグっ♡

おまんこイググっ♡ イググううう……っ♡

おっ♡ おっ♡ おっ♡ おおお……っ♡

うっおおおっ♡ ほおおっおおおお……っ♡

くっふううう……っ♡

はっ、はっ、はっ、はっああ……♡

ああ、おチンポ、気持ちいい……♡

おっぱいミルクいっぱい出しながらアクメえ……♡

っはぁ、っはぁ、はっぁ、はぁああ……♡

んふふふふ……♡「

●第8章

ル「ほらほら、キミい♡

来て来てえ♡ おチンポハメてえん♡

大好きな彼女がおまんこ拡げて誘惑しちゃってんだよね♡

据え膳食わないとか、ありえないっしょ?」

べ「ばあか♡ 入れるんならこっちだよ♡

ほら、こっちのまんこもチンポハメられたくって、

涎垂らして待ちかねてんだ……♡」

レ「女三人ベッドに並べて、好きなおまんこ使い放題……♡

誰から入れてくれるのかなあ?

んふふ……♡」

ル「っあんっ♡

あはあ♡ やっぱり来てくれたあ……♡

やっぱキミはさあ、ルビィの最愛の彼氏ー

んっおおお……っ♡ おおっ、くううう……っ♡

ま、まだ人が、喋ってんでしょうがあ……♡

ばかあ……っ♡

ん、おん、ほお、おおん、うん、おんっ、おっ、んお、おおんっ♡

おおおんっ、うっふっ、うんっ、おほ、おんっ、おんっ、おんっ♡

っおおっおお……っ♡

でも、彼氏チンポ、気持ちいい……っ♡

っおおおお……っ♡

べ「あっ、くそ……っ♡

こっちもチンポ入れて欲しいって、言ってるのに……っ♡

はあ、はあ……っ♡

レ「早くしてえ……♡ 私もおまんこ、

もう、辛いのお……♡

入り口も奥も、うずうずしちゃってえ……♡」

べ「はあ、はあ……♡ ああ、だめだ……っ♡

おっぱい、張ってきて……っ♡

自分で揉んで、搾り出さないと……っ♡

うううっ♡

んっはぁ……っ♡「♡」

レ「私、もお……っ♡

っおお……っ♡

おっぱいもおまんこ、切なくてえ……♡

あなたのおチンポ、早く欲しいのお……っ♡「♡」

ル「んっうん……っ♡

だめえ……っ♡

キミのおチンポは、ルビィだけのものお……っ♡

他のおまんこハメちゃあ、やだ、やだぁ……っ♡

ん、んお、おん、おお、おん、おお、んっ、んふ♡

んっふ、おお、おお、おおん、んおん……♡

んっお……っ♡

っはぁ、はっぁぁ……っ♡

なん、でえ……♡ チンポ、抜いちゃだめだってえ……♡「♡」

レ「あ……っ♡ 次は、私？

そんな、いきなり……っ♡

うれしいけど、心の準備が――

っおっおおお……っ♡

んうお♡ おっほお♡

んっうん……っ♡「

ル」むううう……っ♡

おまんこハメ比べするとかあ、キミい……♡

いつの間にそんな偉くなったのさあ……っ♡

このヤリチンめっ♡

はっあ、はああ……♡ 途中でおまんこやめられたら……っ♡

おまんこ、さびしすぎてえ……っ♡

んっうんっ、あっあああ……っ♡

キミのおチンポ思い出して、

オナニー、止められないじゃんかあ……♡

はっああん……っ♡「

べ「早く、早く、チンポ、よこせえ……っ♡

チンポ欲しくて、まんこ、おっぱいもっ♡

あああ、欲しがりうずうず、止まんねえからあ……っ♡

くうん……っ♡「

レ「っああっ♡ おチンポいいとっ♡

いっぱい当たるっ♡ っおおお……っ♡

かっこいいおチンポでっ♡ ずぼずぼセックスう……っ♡

好き♡ 好き♡ 好き好き♡ んっおおお……っ♡

んっうっ♡ くううん……っ♡

んっお……っ!?!」

べ「んあ? あ……っ♡ き、来たのか♡

ああ、チンポ、早く、早く……っ♡

っおおっおおっおお……っ♡

おおっおおお……っ♡

チンポ、あっっ……っ♡

他の女のまんこであっためられたギンギンチンポ……っ♡

やべ……っ♡ 気持ちよすぎ……っ♡

おおおおお……っ♡

おおっおおお……っ♡「

レ「私やルビィのおまんこでキンタマ汁、熱くして……っ♡

それをベリルに注ぎ込むつもりなんて……っ♡

そんなひどいことお……っ♡

そんな、おチンポかっこいいこと、するなんてえ……っ♡

はっぁあん……っ♡ あぁ、だめえ……っ♡

ベリルのおまんこにおチンポ強く叩きつけてるの、

見てるだけで、おっぱい漏れちゃう……っ♡」

ル「あぁ、出ちゃう♡ 出ちゃう♡

キミのことよく知ってるからわかったちゃう♡

おチンポびゅーびゅー中出しする時の腰振りい……♡

出しちゃうんだ……♡ いっぱい中出し……♡

ベリル姉のおまんこに、たくさんどっぴゅん……っ♡

うううう……っ♡ そんなの嫌なのにい……♡

激しいピストン見てるだけで、おっぱい興奮しちゃうよぉ……っ♡」♡

べ「おおお……♡

イググ♡ イググ♡ まんこイグっ♡

まんこイググっ♡ おおおっ♡ んっうんっおお……♡

出して、出して、いっぱい出してっ♡

中っ、中ぁ……♡

俺を選んでたっぷり中出しっ♡

うれしっ♡ 最高っ♡ 出してっ♡ 種付けっ♡

イグイグ♡ イッグ♡ んっっ♡ ほおおお……っ♡

うっ♡ あっ、あっ、あああ……♡

うううっおおっ、ほおおお……っ♡

っああ♡ 熱い♡ 中出し♡

すっげ♡ いっぱい、奥にいい……っ♡

っふう、っふう、ふううう……っ♡

っおおっおお……っ！？

まだっ、動く……っ！？ っお……っ♡

なんでばんばん♡ チンポ♡ ピストン……っ♡

おおっおお……っ♡「♡」

ル「ちよっとお、キミい……っ♡

私のこと差し置いてベリル姉といちゃいちゃするなあ……っ♡

そんなにベリル姉のおまんこ気に入ったってかあ？

だめだぞお♡ そんなのお……っ♡

絶対ダメ♡ 絶対ダメええ……♡

ルビィのところに帰ってきてえ……っ♡「♡」

レ「イッたばかりのおまんこ、そんなに激しく……っ♡

ううう……っ♡ 私もあんな風に、

いっぱいおまんこ、犯してもらいたいのに……っ♡

はぁ、はぁ、はぁぁぁ……っ♡」

べ「ううっ♡ ふうっ♡ んっおお……っ♡

んっお……っ♡

っはぁ、はっぁぁぁ……っ♡」

ル「んぁっ♡ えっ、ぁっ、おチンポっ、きっ……♡

っおおっおおお……っ！っ？

おチンポっ♡ 来たっ♡ なんで……っ♡

うれし、けどお……っ♡

んっうおっ、おっふ、っくうう、んうぁぁぁ……っ♡

んいつ、んっひい……っ♡

っおおっおおお……っ♡

もしかして、まだ……っ♡ ハメ比べっ♡

続いてえ……っ♡

おおっおおおお……っ♡

おチンポびゅーってしたのに……っ♡

まだっ、おまんこっ♡ し足りないってえ……♡

すげすっ、ぎい……っ♡ っおおおお……っ♡

へあっ、ふあっ、あっふ、んういい……っ♡

おおおっ、っんんおっ、おおおおっ、おうっ♡

んっいいん……っ♡」

べ「っふう、っふう、ふう……っ♡

お前、なあ……♡ 期待持たせるようなこと、しやがってえ……♡

ああ、でも……♡ お腹、あったかくてえ……っ♡

ぽかぽか幸せでえ……♡

おっぱいも、んっうう……っ♡

幸せお漏らし、いっぱい出るっ……っ♡

はっあああ……っ♡」

レ「ずるいわ、レッド……♡

私も早く、中出ししてほしい……っ♡

おまんこ切なくてえ……♡

っっうん……っ♡

あっああ……っ♡ おねだり、止まらないの……っ♡

はあ、はあ、はあああ……♡」

ル「んっおっ、おんんっおおおっ、っんん……っ♡

んっ、んっうっ、おっ、っんっ、おっ、おおっ、おおっ♡

だめっ♡ だめえ……♡

今度こそ、ルビイに中出し♡……♡

この後全部、キミのキンタマの中身は全部♡

ルビイに出すの♡……♡

もう浮気するなあ……♡

離したくない♡……♡ 離れるなあ♡ ばかあ……♡

っ♡お♡お♡お♡……♡

この熱くてぶっとい彼氏チンポ♡……♡

抜いたらっ♡ 船長命令で♡

サメのエサにするぞ♡……♡

ん♡う♡っ♡ お♡お♡、ほ♡お♡……♡

っ♡お♡お♡お♡……♡

ん♡っ♡、お♡お♡ん♡っ♡、ん♡お♡、お♡お♡、っ♡ん♡っ♡、ん♡う♡お♡……♡

ん♡っ♡う♡っ♡、お♡っ♡、お♡お♡お♡、ん♡ん♡ん♡

っ♡お♡……♡ っ♡ ああもう、ばか、ばかあ……♡ っ♡

レ「ああ、来てくれたあ……♡

ありがとう……♡

っ♡お♡お♡お♡……♡ っ♡ ん♡う♡う♡っ♡、ふ♡う♡う♡……♡

っおおおお……っ♡ バキバキのチンポでっ♡

おまんこほじり……っ♡

ほっおおおお……っ♡

来るっ♡ 中出しっ♡ 来てくれるっ♡

出すつもりなのっ♡ 伝わってくるう……っ♡

おチンポ好きっ♡ おチンポ好き♡

中出しっ♡ 中出しっ♡……っ♡「♡」

ル」出しちゃうの？ ホントに出ちゃうの？

ベリル姉にも出して、レッド姉にもお？

ルビイのことほっというて、連続浮気交尾で、

連続中出しっ♡……っ♡

だめえっ♡ だめええ……♡

浮気交尾禁止……♡

寝取られきらあい♡ だめ♡ だめえ……♡

うううう……っ♡「♡」

べ「ああ、すげえ……っ♡ あんなに激しくピストン……♡

俺もあれでおまんここじあけられて、

まんこに種付けされたんだ……♡

見てるだけで、ううう……♡ 子宮疼いてえ……♡

はっああ……♡ ああ、チンポ、かけえ……♡」

レ「っおっおおお……♡ イグイグ♡

イグわっ♡ 私も♡ イググ……♡

っおお……♡ おっぱい噴き出しながらっ♡

おまんこアクメ♡ おっほ♡ っおおお……♡

イック♡ イック♡ イック♡ イックううう……♡

ん♡ おっ、おおっ、んうおお……♡

出て……♡ っおおお……♡

出てるの♡ チンポ♡ 止まんない……♡

おっおおお……♡

精液♡ 中で♡ 掻き回される♡

んうう♡ くううう♡

ほっおっおお……♡

おおお……♡ ふう♡ ほお♡

おっおお……♡」

べ「んあ……♡ また、俺か……♡

そんな精子でどろどろのチンポ♡

ぶちこむって……っ♡

んっおっおおお……っ♡

おっおおお……っ♡

チンポっ♡ やっべえ……っ♡

これっ♡ さっきより……っ♡

硬くてっ♡ 熱くてっ♡ チンポっ♡

勃起しまくりでえ……っ♡

くうううん……っ♡ ふっ♡ ふっ♡

ふうううう……っ♡

レ「ま、まだセックス、終わらない……っ♡

ああ、強いおチンポ、かっこいい……っ♡

ますます好きになっちゃう……っ♡

っふう、っふう、はっああ……っ♡

ああ、おっぱいまだ、出ちゃうっ……っ♡

ル「ねえ、キミい……っ♡

おまんこハメハメ、まだ続くってことはさあ……っ♡

あああ……っ♡

んっううん……っ♡ ああ、うれしくてまた、

おっぱい漏れて……っ♡ くううん……っ♡

ううんっ♡ はあああ……っ♡

待たせすぎだよ♡ ばか♡

はあああ……っ♡「

べ」「くううう……っ♡

チンポどんどん、あつつくなって……っ♡

気持ちいい……♡ おおっおおお……っ♡

くっ、ふっ、くううう……っ♡

っおおお……っ♡

ふっ、ふっ、ふうう……っ♡「

ル」「ああ、やっと来たあ……♡ ばかばかあっ♡

本命彼女まんこ待たせすぎだぞ♡

謝ったって許さないんだから、絶対――

っおおっおおお……っ♡

絶対、おまんこ……♡

気持ちよくしろお……♡

おおおうっ、っうっ、おおおっうっ♡

んんおおおっんんっ、んお……っ♡

おおっ、おおんんっ、っおおおっ、おおおっうっ♡

うっ、っおっ、おおおっうっ♡

っんんんおおおっんっ、んおっ、おっ、おっんん……っ♡

んっ、んうっおっ、んんっおっ、んううううっ、っくうううっ♡

んうっおおっおお……っ♡

チンポ好きっ♡ 彼氏チンポっ♡

だあい好きいい……っ♡」

べ「あは……♡

ルビィのまんこに中出しする気満々の、

全力叩きつけチンポ……っ♡

かっこいいぞ……っ♡

強いチンポ♡ たくましいオスチンポお……っ♡

だあい好きだぞお……♡」

レ「ほら、出してあげて……♡

ここまで待たせたルビィのおまんこ……♡

姉のおまんこであつためた、

あつつあつのドロドロキンタマミルクう……♡

いっぱい注いでやってえ……♡」

ル」っおっ、おっ、おおっうっ、んんおっ、おおおっ♡

んんっ、おっ、っんんん……っ♡

っおおおお……っ♡

好きっ♡ 好きっ♡ 大好き大好きっ♡

チンポ出してっ♡ おチンポ出してっ♡

イグっ♡ からあ……っ♡

おまんこイグからっ♡ まんこイグっ♡

熱々ハメハメチンポで恋人まんこイグからあっ♡

出してえええっえええ……っ♡

おおっおおお……っ♡

んっ、んうっ、おおおおおっ、んっ、んっ、っおおっ♡

おうっうっ、っおおおっ、おおっ♡

んうおおおおお……っ♡

んいいっ♡ くううんっ♡ ほおおっ♡

うっおおっおおお……っ♡

おっ♡ うっ♡ おおっ♡ ほおおお……っ♡

んっいいいいいい……っ♡

うっおおおっ♡ ほおおっおお……っ♡

うっうおおお……っ♡ あああっ♡ ほおお……っ♡

ああ、好きっ♡ チンポっ♡ 射精い……っ♡

中出し、大好きい……っ♡

んっうん……♡

っはあ、はっああ……♡

もっと、もっといっぱい、セックスしようよお……っ♡

まだ足りないよお……っ♡

らぶらぶ恋人セックスう……♡

もっとたくさあん……っ♡」

べ「待て待て……♡

その前に、酒の補充だ……♡

ほら、ジョッキよこせ……♡」

レ「ほら、あなたの貸して♡

特製のカクテル、飲ませてあげるからあ……♡

こうやってねえ……♡

んっはあ……♡ 美味しい母乳入りのお、

あんまあゝいのお……♡」

ル「ちょっと、レッド姉え……♡

それ飲ませるんなら、ルビィにもお……♡

ほらぁ……♡ こっちの方がもっとおいしいっしょ……♡」

べ「俺のもだ……♡

っはぁ……♡

三人の母乳入り、特製カクテル……♡

ほうら、ぐいっと行け行け♡」

レ「あはぁっ♡ いい飲みっぷり♡

それなら今度は、直飲みしちゃう？

おっぱいはまだ、たくさん出るんだからぁ♡」

ル「ほれほれ♡ おっぱいどうぞ♡

搾れば搾るだけ出てくる母乳、

いっぱい飲んじゃえ♡」

べ「酒も母乳もまだまだあるからよ……♡

腹一杯になるまで、飲み続けようじゃねえか……♡

んひひひ……♡」

● 第9章

ル「うういいい……。」

ああ、飲み過ぎたあああ……。」

ベ「ああん？ んだよ、ルビィ♡

もうへばったのか？」

レ「まだまだだね♡♡

そんなんじゃないあ、彼、持ってちゃうわよ？」

ル「それはらめえ……。」

よし、よし……っ。

気合い入れるぞお……っ。」

ベ「はは、その調子だぞ♡

んじゃ、こっち来い♡」

レ「いいところがあるのよ♡

ほら、あなたもこっち♡」

ル「んえ？ 今のお店以外にいいところって……。

……いや、なんか、どんどん暗がりに入ってってね？

これえ……」

べ「くくく……♡

この裏路地なら、周りにバレずにハメれんぞお……♡」

レ「穴場なのよねえ、ここ♡♡

昔から目は付けてたんだけど、

実際に使える日が来るなんてえ……♡」

ル「こ、このバカ姉どもは……。

酒とえっちのことしかないんかいっ。」

べ「なんだあ？

そんじゃあお前はヤラないのか？」

レ「それでもいいのよ？

私たちだけ楽しむから♡」

ル「そ、そうは言っていないしっ。

ほらほら、キいミニ♡

今度こそ、あの二人とする前に、

ルビィとしちやおうねえ♡

って言っても、ここ、ちょっと狭いから……

こうするっきゃないかなあ♡

バックでばちゅばちゅって、後ろから、思いっきりい……♡

ほら、来て来て♡ キミのチンポお、おまんこ入れてえん♡

んっう……っ♡ そうそう……っ♡

周りにバレないってんなら、思いっきりい……っ♡

っおっおおお……っ♡

んっ♡ ほっ、っおおおん……っ♡

うっ、っんんんっおおっ、っんっ♡

っおっ、おっ、んんっ……っ♡

くっふううう……っ♡

ああ、気持ちいい……っ♡

彼氏チンポ、どこでハメても、さいっごお……♡

んんっうっ、っおっ、おおっんんっおっ、おっ♡

っふうっ、ふっうっ、っおっ、おおっうっ、んんんっ♡

くっううん……っ♡「♡」

べ「どうだ……？」

ベッドの上でするのもいいが……♡

こういうところするのも乙なもんだろ……♡」

レ「もしかしたら人にバレるかも、なんていう背徳感が……♡

おチンポもおまんこもぞくぞくさせちゃうものねえ……♡」

ル「二人とも……♡

そんなこと、考えてたの……♡ んっう……♡

初めてセックスしたのも、ついこの間だったくせに……♡

っおおお……♡

本物チンポ味わったことないのに……♡

どこでセックスしたら気持ちいいか、

想像してたとか……♡

ホント、スケベなんだからあ……♡

っくううん……♡

でも……♡ んっおお……♡

ムカつくけど……♡

ホントに気持ちいい、よお……♡

っあああ……っ♡

裏路地とは言え、町中でっ、思いっきり……っ♡

ぱいぱいばんばん……っ♡ くううう……っ♡

っおお……っ♡ キリ……っ♡

それ、やば……っ♡ うしろからっ♡

おっぱい驚掴み……っ♡ 出るっ♡ 出るっ♡

おっぱい出るっ♡ っおお……っ♡

っくううう……っ♡

キミもっ♡ 興奮っ♡ しちゃってるんだあ……っ♡

んっいいいい……っ♡「♡」

べ「ほら、ほら……っ♡ 出しちまえよ、お前も……っ♡

チンポからあったかミルク♡ どばどばぶっびゅう……っ♡

周りに人がいっぱいいる中で……っ♡

メスまんこ、どっぶり中出し……っ♡「♡」

レ「もしかしたら、お船の仲間がいるかもしれないところで……っ♡

船長に向かって、どぶどぶぶっびゅう……っ♡

種付けしちやいなさあい……っ♡「♡」

ル」おおおんっ、っおおっ、うおおん……っ♡

おっ、っんんっおっ、おっ、うっ、うっ、っおおっ♡

っおおっおおお……っ♡

イグイグっ♡ イッグっ♡ まんこイグっ♡

おまんこイッグっ♡ うんっ♡

おっおおお……っ♡

おまんこっ、イグからっ♡ 出してっ♡

出してえ……っ♡

うっ♡ おっ♡ っおおっ♡ んっうん……っ♡

うっ♡ あっ♡ っああっ♡

んっいいいい……っ♡

んうっおおっ♡ んうおおっ♡

くうううん……っ♡」

べ「あは♡ 出てる出てる……♡

濃いっのいっばい、種付けびゅっびゅ……♡」

レ「ふふ、ルビイったら、膝をがくがく震えさせて……♡

おまんこアクメ、気持ちよさそう……♡

次、私にも……♡ お願いできる……？

ほら、こっち……♡

ルビィにしたのと同じように……♡

ぶっといチンポで容赦なく、奥まで突いて……♡

っおっおお……♡

そうよ、一気に、奥まで……♡

んおっほおお……♡」

ル「っはー……♡　っはー……♡

レッド姉、思いっきり喘ぎ声、あげて……♡

こんなの、絶対向こうにも聞こえてるでしょ……♡」

べ「なあに……♡　例え聞こえてたって……♡

それがこの街の支配者たちの喘ぎ声だとは、

だあれも思わねえよ……♡

だからお前は気にせずに、思いっきり……♡

レッドのまんこ、犯しまくれ……♡」

レ「っおっおお……♡

奥っ♡　奥っ♡　ばちゅばちゅ♡

チンポっ、っっよおっ♡　っおおお……♡

っあああ……っ♡ 気持ちいい……っ♡

お尻ぐにぐにっ♡ 揉みしだかれてえ……っ♡

デカケツ変形させられながらっ♡

ハメ穴ぐちゅぐちゅう……っ♡

おまんこ気持ちよすぎてっ♡ バカになるう……っ♡

っおおっおおお……っ♡」

ル」おっぱいからもおまんこからも……♡

えっちなお汁、噴き出しまくりで……♡

支配者の尊厳なんか一切なしの、

ケダモノ交尾……♡

女をただのメスにさせるおチンポセックス……♡

気持ちいいねえ……♡」

べ」ほら、また中にいっぱい出せ……♡

我慢なんかすんじゃねえ……♡

繁殖種付け中出し……♡

遠慮なく決めちまえ……っ♡

イケ♡ イケ♡ イケ……♡」

レ「ほっおおおっおおお……っ♡

おチンポ奥っ♡ 一番奥っ♡

ぶっ刺さってっ♡ チンポ膨らんで……っ♡

んっおおっおお……っ♡

イグイグイグイグっ♡ まんこイグっ♡

まんこイグっ♡ まんこイグっうう……っ♡

んうおおっおおっおお……っ♡

んっいいっ♡ ふんうおおお……っ♡「

ル「びゅー……♡ びゅー……♡

びゅるるる……♡

おまんこ種付け気持ちいい……♡

恋人の目の前で、浮気種付けえ……♡

男として最低だけど……♡ オスとしては、最っ高……♡「

べ「孕む♡ 孕む♡ そんなに濃いの、注がれたら……♡

絶対孕む……♡ 妊娠確実う……♡

くくく……♡

そら、次は俺だ……♡

もちろん、俺のこと……♡

孕ませてくれんだろ……？

他の二人と同じようにさあ……♡

動物みたいに後ろから、チンポで、激しく……っ♡

っおおっおおお……っ！？

あは……っ♡ 不意打ち、チンポぶっこみい……っ♡

ハメ方、えっぐう……っ♡

おおっおおお……っ♡

チンポ、すっげえ……♡

ふううっおおお……っ♡「♡」

ル「うわぁ……♡ キミさぁ……♡

もう、頭の中、おチンポだけになってるねえ……♡

目の前にまんこあったらぶち込んで、

孕ませるだけの鬼畜チンポお……♡

でも、そういうキミもかぁっこいい……♡

ルビィ、ますます惚れ込んだじゃう……♡

だあい好き……♡「♡」

レ「私もお……♡

チンポ好き……♡ チンポ好き……♡

高速ピストンかっこいい……♡

孕ませ交尾だあい好き……♡」

べ「うっおっおっおっ……っ♡

チンポ、深……っ♡ ぐううつ、おおお……っ♡

チンポ絶対最後まで抜かないって……っ♡

一番奥まで全部ぶっ刺しながら、ばこばこピストン……っ♡

種付けレイプ……っ♡ おっおっお……っ♡

っおっおっ……っ♡」

ル「そんなレイプで感じちゃうベリル姉も……♡

変態なんだよねえ……♡

ほうら♡ 今のベリル姉は何したって喜ぶよ……♡

どっぷり子種汁注ぎ込んで♡ 孕ませちゃえ……♡」

レ「受精確実……♡ 着床確実の濃厚ザー汁でえ……♡

ベリルのお腹、大きくしちゃえ……っ♡」

べ「イグイグ♡ イググっ♡ まんこイグっ♡

孕ませチンポでイガされるっ♡

ママになるっ♡ お前の赤ちゃんっ♡

孕んでっ♡ 産んでっ♡

ママになっちゃうっ♡ この俺があ……っ♡

っおおっおおお……っ♡

出してっ♡ 出してっ♡ おおおっ♡

んっおおっおおお……っ♡

くうっおおお……っ♡

イグイグっ♡ イググっ♡

出てるっ♡ 射精っ♡ 中出しっ♡

中にいい……っ♡ おおお……っ♡「♡」

ル」ああ、出てる出てる……♡

ベリル姉も孕んでる……♡

絶対赤ちゃんできちゃってるっ……♡

妊娠しちゃうよお……♡」

レ「目の前のメス、みいんなママにしちゃって……♡

どうするつもりい……？…んふふふ……♡

えっ？ あっ♡

うっ、うそっ♡ あはっ♡

またするの？ やぁ……っ♡

しかもこんなっ、片足上げて、恥ずかしい格好でえ……っ♡

んおっ！？ そ、そっちは……っ♡

おおっおおお……っ♡

おし、りっいいい……っ♡ っおお……っ♡

んうおおおおお……♡

っおおっおおお……っ♡ すごっ♡

チンポっ♡ アナルっ♡ ばちゅばちゅ……っ♡

子宮孕ませ終わった後はっ♡

ケツ穴でっ♡ キンタマ残り汁っ♡

搾り切るつもりでえ……っ♡

おおおおっおおお……っ♡」

べ」はは……っ♡

マジかよ、お前……っ♡

マジで頭の中、チンポ一色になってんな……♡

ああ、いいぞ……♡ それならこっちも……♡

元々ピンクな脳みそ、もっとドピンクに染め上げて……♡

お前のケツ穴、スケベに舐めまくってやる……っ♡

っはっああ……っ♡

そら……っ♡

もっと気合い入れろよ……っ♡

レッドのアナル、ぶっ壊すぐらいの勢いで、

犯しまくれ……っ♡」

ル「はあああ……♡

もう、キミってばさあ……♡

どんだけかっこいいおチンポ持ってたのかなあ……♡

そんなキミの彼女ってだけでもうれしいのに……♡

ム力つく姉のお尻まで、ぶち犯してくれるなんてえ……♡

最高すぎるよお……♡

はっああ……♡ ほら、ほらあ……♡

もっとチンポぶっとくしちやえ……♡

母乳どろどろ塗りたくってあげるからあ……♡

もっとチンポ、興奮させてえ……♡」

レ「っおっっおおお……っ♡

チンポっ♡ やっべっ♡ ケツ穴っ♡

チンポっ♡ うおっっおおお……っ♡

ふっ、ぐっ、おおおっ♡ くううう……っ♡

おっぱいっ、溢れっ、おおおっ！？

そんによっ♡ 尻穴犯されてるだけでもヤバいのによっ♡

おっぱいっ♡ 乱暴によっ♡ 吸われえ……っ♡

ほおおっおおお……っ♡」

べ」そら♡ やれやれっ♡ もっとやれ……っ♡

チンポで尻穴犯しまくれ……っ♡

はっああ……♡ お前の尻穴、美味すぎる……♡

オスの味……っ♡ たまんねえ……っ♡

っはあああ……♡ あはあ……♡」

ル「ケツハメチンポ、ガチガチだよお……♡

出ちやいそう？ 射精しちやいそう？

いいよお、出しちゃええ……♡

レッド姉のお尻にい……♡

あっつあつなの注いじゃえ……♡

繁殖一切関係ない、性欲処理だけのアナル交尾い……♡

くっさいオス汁どぶぶ出しちゃええ……♡

イケ♡ イケ♡ イケイケイケえ……♡」

レ「うおおおおっおおっおおお……っ♡

イグイグイグイグっ♡

ケツアクメっ♡ おおおっ♡

んうおおおっ♡ ぐうおおっおおお……っ♡

イッグ♡ イッグっ♡

お尻イグお尻イグお尻イグうううう……っ♡

お尻っ♡ あづいっ♡ お腹にっ♡

ザー汁う……っ♡ おおっおおっおおお……っ♡「♡

べ「っはっああ……っ♡

ほうら、出せ出せ、もっと出せ……っ♡

ケツ穴中出し、もっといっばい……っ♡

レッドの尻の中、まあっ白にしろ……♡「♡

ル「どびゅどびゅう、ぶっびゅううう……っ♡

中出し気持ちいいねえ……♡

お尻の奥に、おチンポ根元までぶっ刺して、

びゅるるうう……♡

んふふふふ……♡「♡

レ「んっほおお……♡

ふっ、ほっ、おおっ、くううう……っ♡

はああああ……♡」

べ「んい……っ♡ あはっ、来ると思ったぜ……っ♡

今度は俺の尻穴、犯すつもりかあ……？

だが俺は、レッドみたいには、絶対に……っ♡

っおおっおおっおおお……っ♡

れ、れっど、みたいにはあ……♡

んうおおっおおお……っ♡

ほおおっおおっおおお……っ♡」

べ「んふふ……♡ 勇ましいこと言っというて……♡

おチンポ入れただけで、あっという間に

トロ顔になっちゃって……♡

結局誰も、あなたのおチンポには勝てないのよねえ……♡」

ル「そうそう……♡

結局キミが、キミのおチンポがあ……♡

みいんな大好きでえ……♡

はっああ……♡

キミにおチンポしてもらうためなら、

どんなお下品なことも、簡単にできちゃうんだよお……♡

キミのこと、だあい好きだからあ……♡

もちろん、ルビイもだあい好きい……♡

お尻の穴だって、いくらでも舐められちゃあう……♡

んふふ……♡」

べ「っおおっおおお……♡ 勝て、ない……♡

くっそ♡ 尻穴っ、チンポっ♡

ぶちこまれてえ……♡ おおおお……♡

乳首っ♡ 吸われてっ♡

頭っ♡ ケツ穴っ♡ おかしくなるうっ♡

ほっおおっおおお……♡

んうおおおお……♡」

レ「そのままベリルのことも壊しちゃえ……♡

私みたいにい……♡ お尻の穴に、

熱くて濃厚キンタマ汁、ぶちまけてえ……♡

お尻の中まであなたの匂いにしちやいなさい……♡」

ル「いいよお、出せ出せえ……♡

ベリル姉まで、尻穴犯してバカにしてえ……♡

もう二度と、キミに逆らえないようにしちやえ……っ♡

出せ出せ♡ 出しちやえ……っ♡

チンポイケえ……っ♡

べ「うっおおおお……っ♡

イグイグイグっ♡ ケツ穴イッグっ♡

お尻イグ♡ お尻アクメでバカになるうっ♡

おおっおおお……っ♡

んうおおおっ♡ ほおっおおお……っ♡

イッグうおっおお……っ♡

ほおおおっ♡ ふうおっおお……っ♡

んいっいっい……っ♡

出る出る♡ 出るう……っ♡

尻穴ザーメン注がれてっ♡ おっぱいっ♡

止まんね……っ♡ おお……っ♡

ふううっ♡ くうううう……っ♡「♡」

ル「あはぁ……♡

ベリル姉まで、キミの色に染められて……♡

いい気味だねえ♡

このルビイからキミのこと、奪おうとした罰――

んひっ!?

えっ、やつ、ちょおっ!?

る、ルビイのお尻までっ、犯しちゃうのおっ!?

っおおっおおっおおお……っ♡

どう、してえ……っ♡

こんなことしなくても、ルビイは元々、

キミのもの、なのにい……っ♡

おっ、うっ、んんっ、んおんんんっ、っおおっ、んんんおお……っ♡

うっ、おおっ、っんんんっおおおおっ♡

ほっおおっおおお……っ♡」

べ」はは……♡

人のこと散々言ってくれやがってよお……♡

ほら、もっとチンポぶっとくしろ……っ♡

俺の母乳でチンポ大きくしてえ……♡

ルビイの尻もぶっ壊しちまえ……っ♡

そら、そらあ……っ♡」

レ」「ふふふ……♡

私たち姉妹を全員自分のものにするにはあ……♡

ルビイだけ放っておくわけにはいかないものねえ……♡

改めて、お尻の中まで犯し尽くして……♡

おチンポの魅力、叩き込んだじゃいなさい……♡

お尻ぺろぺろでお手伝い、してあげるからあ……♡「

ル」おっうっ、っうっ、っおおおっうっ、っんっ♡

おおおっんっ、んんおおっ、おっん……♡

おおおっ、おおっんっおおおっ、んんうっ、んうううっ♡

おおおっおおお……♡

おっばい♡ ぢゅうぢゅう……♡

そんなに強く吸われたらっ♡

赤ちゃんの分♡ なくなっちゃうよお……♡

おおっおおっおおお……♡

おおっ、っうんっ、んっおっ、っんんんおっ♡

おっ、っんっ、んうう……♡

んっ、んんっうっ、おおおんっ、んっ、っおっ♡

っうっうおおおっ、おおうっ、んっ、っおっ、おっ♡

ほっおおっおおっおお……♡「

べ「はは……♡ ルビィの尻穴、

あんなに拡がって……っ♡

ケツ穴きゅうきゅう締め付けて、チンポもザー汁搾り取られそうで……

♡

いいぞお、ほらぁ……♡

出しちまえよお……♡

ケツ穴びゅーびゅー♡ 中出しどっびゅん……♡

自分の恋人、ケツからザーメン垂れ流す変態女にしちまえよ……♡」

レ「姉妹揃ってお尻アクメするような、

ドスケベザコメスに……♡

あなたのおチンポでしちやいなさあい……♡」

ル「っおおっおおっおおお……っ♡

イグイグイグイグっ♡ おおおっ♡

ひっぐうううっ♡ おおっっおおお……っ♡

恥ずかしい格好でっ♡ ケツ穴犯されてっ♡

強烈アクメ来る来るっ♡ 来るううう……っ♡

んうおおおっ、ほっおおおお……っ♡

イッグ、イッグ、イグイグっ♡ ふっぐうう……っ♡

うっおおおっ♡ おっおおおおっ♡

んおおおおおおおお……っ♡

ううおおおっ♡ ほおおっおお……っ♡

っおおっおお……っ♡

くううおっ♡ ほっおおっおお……っ♡

うっ、ぐっ、くっふっ、ほっおお……♡

チンポ、気持ちいい……っ♡

アナルセックスう……♡

おケツアクメ、ぞくぞくしちゃあう……♡

んっへあ……♡ はあ、はあ……♡」

べ「気持ちよかったなあ……♡

三人のメス、存分に犯しまくってよお……♡」

レ「でも、おかげで少し疲れちゃったわね……♡

どうかしら？

これからいっしょに、お風呂にでも……♡」

ル「さんせうい♡

ああ、身体中どろどろお……♡

早くきれいにしたあい♡

「ふうふう……♡」

● 第10章

ル「ほうらぁ……♡」

ベ「そうれ……♡」

レ「はぁ……♡」

ル「うりうり、うりうり♡」

どうどう？ おっぱいむぎゅって押し付けてえ♡

あわあわたっぷり、ごしごし洗い♡」

ベ「俺たちが、お風呂に入ってゆっくり休むとでも思ったかあ？」

レ「お風呂でだって、もちろんするわよ♡」

あなたにとっての一番を決めてもらうためにもねえ……♡」

ル「そんなのルビィに決まってるでしょ♡」

ほらほらぁ♡

キミのことはルビィが一番よく知ってるんだからぁ…………♡

どこをどうしてやればいいかだって、丸わかり♡」

べ「せいぜいそうやって、油断してればいいさ…………♡

その間に俺が、勝利をかすめ取ってやるからよ…………♡」

レ「私だって負けないから…………♡

ほうら、あなたの大好きな母乳もどうぞお…………♡

んっうん…………♡ あはぁ…………♡」

ル「あっ♡ それはなしでしょうよ、レッド姉♡

身体洗ってるってのに、また汚しちゃうようなこと…………♡」

べ「大好きな母乳だぞ？ 汚いなんてこと、ないよなぁ？

ほら、俺のもいっぱい浴びていいぞ…………♡

おっぱいミルクシャワーで、気持ちよくなろうなぁ…………♡」

レ「ルビィはしちゃダメよ？」

汚いんでしょう？ ルビィのは♡」

ル「うるっさいわぁ、ポケ姉どもっ♡

それならルビィはぁ…………♡

こっちをきれいにしてあげようかなぁ♡

キミのおチンポ、あわあわおっぱいでパイズりぎゅっぎゅうっ♡

ごしごしむにむに♡ おチンポむぎゅぎゅう……♡

っはぁん……♡

ここになら、どれだけおっぱい浴びせちゃっても、問題ないでしょ？

んひひ……♡」

べ「テンメえ……っ♡

ほらっ♡ パイズりならこっちだって……♡

チンポにデカ乳、ぎゅっって……っ♡」

レ「こっちにも、おチンポ包んだら気持ちいいおっぱい、

いくらでもあるんだから……♡♡

ほうら、ぐにゅぐにゅっって……♡」

ル「真似すんなよお、バカ姉どもお……♡

恋人おチンポ、ルビィのものだって、

もう何回言ったか……っ♡」

べ「そいつを奪うためにやってんだろうが……っ♡」

レ「何度言ったって、意味ないのよ……♡

すべては彼を気持ちよくしてあげたもの勝ちなんだから……♡」

ル「くううう……っ♡♡

ほら、ほら、ほうらぁ………♡

ルビィのおっぱいが、一番気持ちいいんだからぁ………♡

乳圧強く、おチンポ締め付けてえ………♡

ぎゅ♡ ぎゅ♡ ぎゅううう………♡

べ「あは……♡ 締め付けパイズリ気持ちいいか？

いぞ、いつでも出して………♡

レ「おっぱいの中でたくさん射精して………♡

ほら、ほら………♡ びゅっびゅっびゅ………♡

ル「おっぱいミルク、たくさん浴びせてあげるからぁ………♡

ルビィのおっぱいで、おチンポイッてえ………♡

お返しザーメンシャワー、ルビィにちょうだあい………♡

べ「ほらいケ、イケイケ♡ 出せ、出せ、出せ………♡」

レ「ほらいケ、イケイケ♡ 出せ、出せ、出せ………♡」

ル「おチンポどうぞお………♡

パイズリ中出し、いっぱいどうぞお………♡

ル「んっううん……っ♡」

べ「んうああ……っ♡」

レ「はっああん……っ♡」

ル「んはぁっ♡ 出てる出てる……♡」

あっつい、たっくさぁん……♡」

べ「くうう……っ♡」

どびゅどびゅたくさん、ぶっかけられて……♡」

レ「ああ、精液たっぷり、うれしいわぁ……♡」

ル「はぁ、はぁ、はぁ……♡」

ああ、おチンポありがとう……♡

まだまだこんなに出してくれるんだぁ……♡」

べ「なら、そろそろ熱いお湯にでも浸かるとするか……♡」

レ「もちろん湯船でも……♡」

やることやっちゃうけどね……♡

んふふ……♡」

ル「ほうらぁ……♡ あったかいお風呂の中でも……♡」

ルビィといちゃいちゃ、らぶらぶセックスだよぉ……♡

二人だけの世界でいっぱい、気持ちよくなろうねえ……っ♡

んっううん……っ♡　っほおう……っ♡

ああ、お風呂もおチンポもあったかあい……♡

お風呂の中で向かい合い抱き着き交尾い……♡

いっぱい楽しんじゃおうねえ……っ♡

おっ、っんっ、んおっ、おおおっんっ♡

おっんっおっ、おうっ、うっ、おっ、おうっ♡

んっううん……っ♡

おチンポ、かったあい……っ♡

まだこんなあ……っ♡　んっうおお……っ♡

っんっ、んっおお……っ、おおおっ、んんっ、おおおお……っ♡

んんんっ、んうおっおお……っ♡

はっあああ……っ♡

大好き、だあい好きいい……♡

へあああ……♡

キミのよだれ、いっぱいちょうらい……♡

おいしいの、たくさん飲みたいからあ……♡」

べ「ほうらあ……♡ ルビィとばっか、

してんじゃねえぞお……♡

俺のおっぱいも飲むんだよ……♡

んっうん……♡ ああ、そうだ……♡

いっぱい飲めよ……♡ んっうん、くう……♡

よしよし、よしよし……♡

おっぱい美味しいなあ……♡」

レ「ごっちにも、おっぱいはあるからねえ……♡

いいこだから、たっぷり飲んじゃおうねえ……♡

っああん……♡ ちゅうちゅう、上手う……♡

はっああん……♡

いっぱい飲んで、おチンポ、おっきくしてねえ……♡

あはあ……♡」

ル「んっ、おおおっうっ、うっ、っおっ、おっっ♡

んんっ、っおっ、おんんんっおおお……♡

っうううう……♡

好きっ♡ 好きっ♡ おまんこっ♡

気持ちいい……っ♡

おチンポどんどんおっきくなるっ♡

熱くなるぅ……っ♡

おおっおおお……っ♡

はっあああ……っ♡

おまんこっ♡ 気持ちよくってっ♡

お風呂の中でいっぱいっ♡ えっちな汁っ♡

漏れちゃってえ……っ♡

んっうっ、おおおっんっ、んおおおっ♡

おおっ、おうっ、っんんおおおっ、んんおおっんっ♡

んっうううん……っ♡

はっあああ……っ♡ 好きっ♡ 好きっ♡

好きだからあっ♡

出してえ……っ♡ 熱いのいっぱいっ♡

ルビイの中っ♡ またちようだあい……っ♡

んっおおおっおお……っ♡「♡」

べ」ほらいいぞ、出せよ、出せよ……っ♡

俺のおっぱいいっぱい飲んで、また濃いの……♡

たくさん出せよお……♡

はっあん……♡ でも、ちゃんと俺の分、

残しておくんだぞ……♡

いいこだからなあ……♡ んっうん……♡」

レ」あっちもこっちもおっぱいだらけで、

母乳たくさんごくごくしてえ……♡

全身あったか幸せお射精、しちやおうねえ……♡

んっうん……♡

よしよし、よしよし……♡

いいこだからあ、いっぱい出そうねえ……♡

んふふう……♡」

ル」んっ、っうっ、っおっ、っんっ、んおおっ♡

うっ、くっうっ、っおっ、おおっ、んううっ、んっくう♡

おおっ♡ イグイグイグイグっ♡

おまんこイグっ♡

またイグっ♡ よっおおお……っ♡

イグからっ、出してえ……っ♡

ほおっおおお……っ♡ んっうんっ♡

おおっおおっおお……っ♡

いっぎゅ♡ いっぎゅ♡ いっぎゅっ♡

んっうん……っ♡

おっ♡ んっ♡ んっうんっ♡

ほっおおっおお……っ♡

くっうううん……っ♡ っおおおっ♡

くっううんっ♡ ほおおお……っ♡

っああっああ……っ♡

くっ♡ うっ♡ おっおおっ、ほおお……っ♡

うううう……っ♡ 好き、好きっ♡

おまんこ中出しっ、好きいい……っ♡

はっ♡ はっ♡ はっ♡ はあ……っ♡

んっはあ……♡ ふう、ふう……♡「♡」

べ」「は……♡ 気持ちよさそうな顔して……♡

んじゃ、次はぁ……っ♡」

レ「次は、私……っ♡

私ともたつくさん、いちゃいちゃらぶらぶなセックス、

楽しみましょ♡」

べ「んだよ、仕方ねえなぁ……っ♡

次は絶対、俺だからな……っ♡」

レ「それじゃあおチンポ、いただきまぁす……っ♡

っおっおっお……っ♡

んっうんっ♡ ふううう……っ♡

っおっ♡ んっ♡ くうんっ♡ ほっお……っ♡

あぁ、抱き着き交尾、気持ちいい……っ♡

はっぁぁぁ……っ♡

えっちなべろちゅーしながら、好き好きセックス……♡

最高お……♡

はっぁぁん……っ♡」

ル「ホントはアホ姉たちと、

いちゃいちゃセックスなんてしてほしくないけど……っ♡

キミが気持ちよくなってくれるんなら、特別だからねえ……♡

だけどルビィも、ほうら……♡

おっぱいたくさん、飲ませてあげるからあ……♡

いっぱいごくごくしないと、だめなんだからねえ……♡

くっうん……っ♡

っあんっ、っううん……っ♡

ちゅうちゅう、上手……っ♡

あっ♡ はっ♡ はっああっ♡

っああん……っ♡

うんうん♡ いいっ、いいこお……♡」

べ」ほうら、こっちも引き続きい……♡

俺のおっぱい飲んだぞお……♡

今出した分の精子……♡ 俺の母乳で補充してえ……♡

俺のためにもっと、キンタマぱんぱんに、膨らませろよお……♡

っおお……♡ そうそう……♡

おっぱい、じゅうじゅう……♡

はっあああん……♡

よしよし、よしよし……っ♡「♡」

レ「んおおっ、おおっんっおおおっ♡

おおおおっ、んんっ、おっほおっ、おおっうっうっ♡

んっうっ、おおお……っ♡

あぁっ♡ おまんこっ、感じちゃう……っ♡

おチンポっ♡ おまんこっ、締め付けてえ……っ♡

にゆるにゆるじゅぷじゅぷっ♡

腰振り、止まらない……っ♡

ペロキスも、気持ちよくってえ……っ♡

んっ、くっ、ふううっ♡ はっぁぁ……っ♡

んっううん……っ♡

おまんこっ、また、イキそ……っ♡

っおお……っ♡「♡」

ル「ん〜？ 出ちゃうんでちゅかぁ……？

いいでちゅよお♡ ほれほれえ……っ♡

ルビィのおっぱい飲みながら、

おチンポびゅーって、していいでちゅよお……♡

ほうらぁ♡ 熱々おチンポミルクう♡

いっぱい出しまちょうねえ……♡

っぁあん……♡ そうそう……♡

ルビィのおっぱい飲みながらぁ……♡

おチンポびゅー♡ でちゅよお……♡」♡

べ」ほうら、出せ、出せえ……♡

いいこだからぁ……♡ いっぱい出せよお……♡

おいしいおっぱい、たっぷり飲ませて、やるからなぁ……♡

はっぁぁぁ……♡」

レ「んっうう♡ イググ♡ イググ♡

イグイグっ♡ っおっおおお……っ♡

イグからっ♡ 出してっ♡

中にいっぱい♡ 熱々、びゅーびゅー……♡

イググ♡ イググ♡ イグイグっ♡

くうううん……っ♡ おっ♡ おっ♡

おおおっ♡ んっおおおお……っ♡

くうううう……っ♡

イグイグっ♡ ひっぐうう……っ♡

おっ♡ んっ♡ おおっ♡ くううん……っ♡

んっおおっ♡ くうううん……っ♡

ふっ♡ ふっ♡ くううっ♡ ふうう……っ♡

っはぁっぁぁぁ……♡

ぁぁ、おチンポ好き、おチンポ好きよぉ……♡

あなたのこと……♡ だあい好き……♡

ふふふふ……♡

んっはぁ……♡ ふうう……♡」

べ」さぁ、今度こそ、俺の番だ……♡

ここまで散々待たせたんだ……♡

俺ともたっぷり……♡ 甘々交尾……♡

してみせろよな……♡

んっうううん……っ♡

はっ、ふっ、はっぁぁぁ……♡

ぁぁ、チンポ、気持ちいい……っ♡

っおっおおお……っ♡
「♡」

ル」ほうらぁ……♡

お疲れおチンポ、ルビィのおっぱいミルクで、

元気いっぱいにしちやいまちようねえ……♡

いいこいいこお……♡

おっぱいちゅうちゅう、たくさんぐくぐく……♡

うっううん……っ♡

ここまでよくがんばりまちたねえ……♡

おチンポすごおいでちゅよお……♡
「♡」

レ「強おいおチンポでえ、メスまんこ、

何度も何度もぱんぱん……♡

オスの強さ見せつける連続セックスう……♡

いっぱいいっぱい、ドスケベえっち、しちやってねえ……♡

ご褒美おっぱいはぁ……♡

っううん……♡ たくさん、あるからねえ……♡
「♡」

べ「ううっあぁっ♡ おおおお……っ♡

ふっ、ふうううっ♡

強く、ぎゅーって抱きしめられて……っ♡

おまんこどちゅどちゅかき混ぜられるの、すっげ……っ♡

奥に叩きつけられて……っ♡

無理矢理幸せな気分になせられるう……っ♡

おおっおおお……っ♡

イチャラブ交尾……っ♡

幸せいっぱいになるう……っ♡

っおおっおお……っ♡

お前の涎、口の中、とろっとなで……♡

っああ……♡

おまんこ響く……っ♡ びりびりいって……♡

おまんこ敏感になるう……っ♡「

ル」ほらほらぁ……♡

ベリル姉がキミのこと、求めちゃってるよぉ……♡

キミのかっこよくって甘ぁいおチンポ……♡

いっぱい届けてあげようねえ……♡

子宮の奥に、おチンポぎゅっぎゅう……♡

恋人みたいに甘やかしてえ……♡

ベリル姉の恥ずかしいあまえんぼセックス……♡

見せてもらおうねえ……♡

っはっああん……♡

ルビィのおっぱいで、おチンポいっぱいおつきくしてえ……っ♡

ベリル姉、ぶつつぶしちゃえ……っ♡」

レ「よしよし♡ よしよし……♡

もうベリルも限界みたいだからあ……♡

いっぱいっばいおチンポ強おくしてえ……♡

ベリルのことイカせちゃおうねえ……♡

あなたの強さ、おまんこにわからせてあげようねえ……♡

んっうん……♡ ごくごくちゅうちゅう……♡

おっぱい飲んでえ……♡

おチンポぴゅっぴゅの準備、してえ……♡

はっああん……♡」

べ」んっおおっ♡ イグイグっ♡ イグっ♡

まんこイグっ♡ っおおっおお……っ♡

この俺がっ♡ 甘々交尾でっ♡ イッちまう……っ♡

くううつ、おおっおおお……っ♡

はっああああ……っ♡

イクっ♡ イックっ♡ イクからっ♡

待って……っ♡

イグ♡ イグ♡ 絶対イグっ♡

絶対イグからああ……っ♡

んっうおおっ♡ ほっおおおっ♡

んうおっ♡ くううううん……っ♡

うつ、ふっ、ふううつ、ほおおおお……っ♡

っおおおっ♡ んううんうおお……っ♡

っおおっおおっおお……っ♡

ふっ♡ おっ♡ おおおっ♡ まんこっ、イッで……っ♡

密着抱きしめ交尾でっ、まんこアクメえ……っ♡

くうううん……っ♡

っはあああああ……♡ はっ♡ ふっ♡ はっ、はああああ……♡
っはあ……♡ はあ、はあ、はあああ……♡」

ル「ふふふ……♡ これでまた一周したかなあ？

それで、誰が一番が決まった？

ま、言うまでもないことだと思うけど？」

レ「……まだ決められないって言うの？

あれだけ散々楽しんでおいて？

ふう……。意外とわがままなのねえ、あなたって。」

べ「ま、まあ……とにかく、今日はもう、こっちも限界だ……。

これからのことは……また明日にでも決めるとしようや」

ル「これからも何も、はじめっから全部、ルビィのー」

レ「それはもういいの。

じゃ、まずはちゃあんとお風呂、楽しんじやいましょ。

せっかく来たんだしねえ。

えっち抜きで、あなたの背中、流してあげるから……。

こっち、来てくれる？ ふふふふふ……♡」

● 第11章

べ「っちゅうわけで、だ……♡

今日からはひと晩で一人ずつ、お前とセックスして、

誰とするのが一番いいのか、

決めてもらうことになったからな♡

さあ、さっさとおっぱじめるぞ♡

お前のオスとしての強さ……♡ 俺に見せつけてみる♡

ほら……わかんדר？

お前の方から、勇ましいとこ見せてみろっつってんだ♡

できねえのか？ できねえんなら、

このままお前のこと押し倒して、逆レイプしてやん——うおっ！？

あは……っ♡

この格好……♡ ははっ、いきなり駅弁かよ……♡

ああ、いいぞ、見せてみる……♡

俺にお前の、強いチンポ……♡

っおっおっお……♡

っふっ、くううん……♡ ああ、いい……♡

チンポ、あっっ……♡

セックス待ちかねて、とろけてたまんこに……♡

ぶっささってえ……♡

っおっおっお……♡

んうおっ♡ くううんっ、はっあああ……♡

おっおっおっお……♡ まんこっ、気持ちいい……♡

駅弁突き上げ交尾、すげっ♡ すっげっ♡ んうおっお……♡

はっ、はっ、ふっ、ふううう……♡

やる、じゃねえか……♡

今この瞬間だけは、俺も……♡

お前のメスに、なっちまってるぞ……♡

この島を支配するベリル様が……♡

お前みたいなの、下っ端海賊に、チンポで支配されちまってえ……♡

んっううん……っ♡

まんこっ♡ ほじられて……っ♡

おっぱいミルク、ぶちまけてえ……っ♡

っおっおっお……っ♡

チンポっ♡ チンポ好きっ♡ チンポ好きいい……っ♡

んうっおっおっお……っ♡

あぁっ♡ 奥っ♡ じゅぶじゅぶっ♡

まんこっ♡ ぶっ刺さってっ♡

子宮ごとっ、感じさせられてえ……っ♡

っふううう……っ♡ ふううう……っ♡

はっ、ふっ、はっ、はっぁぁ……っ♡

やる、じゃねえかぁ……っ♡

でも、なぁ……っ♡ まだまだ、足んねえなぁ……っ♡

おらっ、よ……っ♡

っはぁ……っ♡

っふう、っふう……っ♡

少しはいいとこ、見せてくれたみたいだが、今ひとつだ……っ♡

今度は俺の方からぶち犯してやっから……っ♡

本気の交尾ってやつ、チンポでしっかり、

覚えるんだぞ……っ♡ そうら……っ♡

くうううん……っ♡

いいか……っ♡ 相手を犯すってのは、こーやんだ……っ♡

一気に激しく、何度も、何度も……っ♡

イカせることだけに、集中してえ……っ♡

はっあああ……っ♡

っくううう、はっあああ……っ♡

ほら、飲めよ……っ♡ 俺のおっぱい、またいっぱい……っ♡

こいつでもっとチンポ、ぶっとくすんだ……っ♡

いっぱい出るからなあ……っ♡ 残さず、ごっくんだぞ……っ♡

んっううん……っ♡

はっ、ふっ、はっ、はっあああ……っ♡

っああ、おっぱい、ちゅうちゅう……っ♡

相変わらず、母乳を吸うのは上手だな……っ♡

くくく……っ♡

おかげでこっちもいい具合に、調子、出てきたぞ……っ♡

んっううん……っ♡

杭打ちどちゅどちゅっ、チンポレイプう……っ♡

激しくずぼずぼチンポ出し入れっ♡

気持ちよくうう……っ♡

っおおっおお……っ♡

ふっ♡ ふっ♡ ふっ♡ ふうう……っ♡

はっ、ふっ、はっ、はっああ……っ♡

どうだ……っ♡ わかったか？

これが、俺の求めるセックスなんだよ……っ♡

優しくしてくれるのは結構だが……♡

強く子宮にチンポ、叩きつけられたいって女もいること、

忘れんなよ……っ♡

っはぁ……♡ はぁ、はぁ……♡

そんじゃ、以上を踏まえてもう一回……っ♡

お前の方から俺のこと、犯してみろ……っ♡

ん……っ♡

はぁ、っはぁ……♡

それで選んだのが、普通の正常位ってか？

せめてもっと、俺のまんこに体重乗っけるような形で……ん？

んな、なんだよ、おい……？

ちよ、これ……っ。恋人繋ぎって、お前……っ！？

んっう……っ♡

っおおっおお……っ♡ お前……っ♡

何、考えて……っ♡ あああ……っ♡

んっ、おっ、くううう……っ♡

また、優しいセックスって……っ♡

何、考えて……っ♡ んっひい……っ♡

うっ♡ おっ♡ チンポっ、あっっ……っ♡

くそ、さっきよりチンポ、ぶっとくなってる……っ♡

うあ、やめ……♡

今更また、甘いペロキスとか……♡

んっ♡

んっううん……っ♡

ふっ、ふっ、ふっううう……っ♡

はー……っ♡ はあああ……っ♡

くそ……っ♡ あくまでお前は……っ♡

自分のしたい風に、やるってことかよ……っ♡

このベリル様に従わないとは……っ♡

生意気な野郎だ……っ♡ でも……っ♡

我を貫き通すお前も……♡

キライじゃないぞ……♡

むしろ、そういう男は……♡

大好きだ……っ♡

っおおおお……っ♡

くうん……っ♡

甘いチンポでっ♡ 子宮っ♡ つんっん……っ♡

ああ、気持ちいい……っ♡

こういうセックスも、いいもんだ、なあ……っ♡

っああああ……っ♡

はっあああ……♡

ああっ♡ 好き♡ 好き♡ チンポっ♡ いい……っ♡

甘々恋人セックス……っ♡

いっぱい、感じてえ……っ♡

ううううう……っ♡ おっぱい、溢れる……っ♡

身体が……っ♡ おっぱいがっ♡ 俺の子宮が……っ♡

お前の赤ちゃん、欲しがってえ……っ♡

孕みたい♡ 孕ませてっ♡

ルビイみたいに赤ちゃんくださいって♡

お前のチンポにガチ惚れしちゃってえ……っ♡

っおおお……っ♡

イック♡ イックっ♡ まんこイクっ♡

赤ちゃん孕ませてもらいながらっ♡

まんこっ♡ イキたいっ♡ ほっおお……っ♡

出してっ♡ 出してっ♡

子宮いっぱい、ザーメンどぶどぶ……っ♡

赤ちゃん孕ませ射精でっ♡ 妊娠っ♡

させてくれえ……っ♡

んっおおっ♡ ほっおおっ♡ っううんっ♡

おおおおお……っ♡

イック♡ イック♡ イグ♡ イグうう……っ♡

っおおっ♡ んっおおっ♡ ほっおおっ♡

くううおおおおお……っ♡

んっいいいい……っ♡

んっうんっ♡ くうううう……っ♡

はっあっあぁ……っ♡

好きっ♡ 好きっ♡ 好きっ♡ 好き……っ♡

これが、恋人孕ませ交尾……っ♡

俺の、思ってた以上に、こいつは……っ♡

んっあぁ……♡

はぁ、はぁ、はぁ……♡ ふふふ……♡

これがお前の思いつてわけか……♡

なるほどなぁ……♡

ふふふ……♡ 楽しみにしてるぜ♡

三日後の、お前の選択……♡

どういう結末が待ってるのか、ってなぁ……♡

ふふふふふ……♡「♡」

● 第12章

レ「いらっしやい♡ 今夜は私の番よ♡

ひと晩よろしくね♡ ふふふ……♡

それじゃあまずはあ……♡

この前裏路地でしたみたいに、後ろからいっぱいしてくれる？

あの時の動物交尾が忘れられなくて……♡

お願い……♡ 思い切り、私のおまんこ……♡

感じさせてえ……♡

んっう……っ♡ ああ、硬いおチンポ……っ♡

これが欲しかったのお……っ♡

っおおっおおっおお……っ♡

んっうんっ、くううう……っ♡

ほっおおっおお……っ♡

ああ、これ、これえ……っ♡

後ろからいっぱい♡ ずんずんしてもらおうのっ♡

好きなのお……っ♡ おおお……っ♡

ほっおおっおお……っ♡

んっううう……っ♡

ふっ、ふっ、ふっ、くううん……っ♡

ほら、おっぱいもお……っ♡

後ろからっ、いっぱい揉んでえ……っ♡

母乳搾って……っ♡ 気持ちよくしてえ……っ♡

ほおおおお……っ♡ んうおおっ♡

くうっううん……っ♡

ああっ♡ 気持ちいい♡ おまんこっ♡

気持ちいい……っ♡

ふっ♡ はっ♡ くううっ♡ おおっおお……っ♡

はああ、はああ……っ♡

キスう……♡ キスも、お願い……♡

キミにおまんこしてもらいながら、ベロキス……っ♡

ほら、早く、こっちい……っ♡

おおおおお……っ♡

キスハメ交尾っ♡ 好っき♡ 好っきい……♡

んおおおっ♡ くうううん……っ♡

んっおっ♡ くうううん……っ♡

はー……っ♡ はー……っ♡ はああああ……っ♡

ああ、だめ……っ♡ おまんこ発情止まんないの……っ♡

もっと、もっとお……っ♡

んっううん……っ♡ はあ、はあ……っ♡

ああ、ごめんねえ……♡ 押し倒しちゃってえ……♡

だけどお……っ♡

っおおおおお……っ♡

もっとあなたのおチンポっ、欲しいっ、からああああ……っ♡

あっあああ……っ♡

ほら、ほらあ……♡ おっぱい飲んでえ……♡

お口におっぱい突っ込んであげるからあ……っ♡

おっぱいミルク、たっぷりごくごく……っ♡

っおおっおお……っ♡

出るっ♡ 出ちゃうっ♡ いっぱい出るぅ……っ♡
んっううん……っ♡

発情おまんこ杭打ちピストンでえ……っ♡

チンポ搾りしながらっ♡ 母乳ぅ……っ♡

たくさん溢れちゃううう……っ♡

はっぁぁぁぁ……っ♡

ぁぁ、かっこいいおチンポお……っ♡

突いてもらうのも、搾り取るのも、どっちも好き……っ♡

やっぱり私っ♡ あなたのことっ♡

自分の物にしたくて、たままないわ……っ♡

あなたが私のことを選んでくれなくっても……っ♡

無理矢理さらってやりたいぐらいに……っ♡

ほっおっおっお……っ♡ んっううんっ♡

くうううん……っ♡

はっ♡ はっ♡ はっ♡ はぁぁ……っ♡

ねえ、あなたはどなの……？

あなたは私のこと、どうしたいの……っ♡

あなたがしたいセックス、教えてえ……っ♡

私がしたい交尾っ♡ さっきからしまくっちゃってるしい……っ♡

あなたの希望もっ、聞いておかないと……っ♡

はっ、ふっ、はっ、はぁぁ……っ♡

ええ……？ ふふ、本当にそんなことがしたいの？

仕方ないわねえ……♡

じゃあ……♡ んう……っ♡

はぁい……♡ こうなんでしょう？

恋人距離で、対面座位えっち……♡

っあんっ♡ お手々まで繋いで……♡

本格的い……♡

いいわよ、それじゃあいっしょに、動きましょ……♡

でも、ちょっとやさそつとじゃあ、

私のおまんこ、満足しないから……♡

気をつけないさいねえ……♡

んっおお……っ♡ おおっ♡ んうんっ♡

っおおっおお……っ♡

はぁぁぁ……っ♡

ああ、確かに、っううん……っ♡

こういうセックスもっ、なかなか、いいわねえ……っ♡

いっぱい愛してもらってるみたいで……っ♡

ふふふ……♡ それならあ……♡

ねえ、お願い……♡

あなたのおチンポ、もっと奥まで突き入れてえ……♡

私の子宮におチンポぎゅっってくっつけて……♡

孕ませちゃうみたいなおチンポ、いっぱい……♡

んっうう……っ♡

おチンポ、おつき……っ♡ 孕ませおチンポっ♡

本気になっちゃった……？ つおお……っ♡

うっ♡ おっ♡ ずんずんすっごい……っ♡

孕ませ交尾……っ♡

おチンポ密着種付けピストン……っ♡

おまんこ、びりびりいってえ……♡

つおおお……っ♡

くうううん……っ♡

はっ♡ はっ♡ 熱いっ♡

おまんこっ♡ ぞくぞくっ♡ いっぱい……っ♡

いく……っ♡ 私、おまんこ……っ♡

甘々交尾でイッちゃいそう……っ♡

んうっおおお……っ♡

はっ♡ はっ♡ あなたも、出して……っ♡

おまんこ、今なら気持ちいいから……っ♡

いっぱい精子……っ♡ 奥にたくさん……っ♡

びゅーびゅー出して……っ♡ 出してえ……っ♡

ううううん……っ♡

私のこと……っ♡ あなたの精子で、孕ませてえ……っ♡

出して♡ 出して♡ 孕ませザーメン……っ♡

いっぱい中にい……っ♡

赤ちゃん作って……っ♡ ルビイみたいになっ♡

ママにしてえ……っ♡

出して♡ 出して♡ 出して♡ 出してえ……っ♡

んっ♡ あっ♡ くううんっ♡ おおおお……っ♡

イック♡ イッグ♡ イグイグっ♡ くうううん……っ♡

うっ♡ おっ♡ おおおっ♡ ほおおお……っ♡

ふううううっ♡ くううううん……っ♡

ほっおおおん……っ♡ おおおっ♡

くうううん……っ♡

ふー……っ♡ ふー……っ♡ ふううう……っ♡

はっああ……っ♡

ああ、孕ませセックス……っ♡

気持ちいいわぁ……♡

あなたとこうして、毎日えっちできたら、私……♡

とっても幸せになれると思うんだけど……♡

これから先、どうなっちゃうのかしらねえ……♡

ふふふふ……♡「♡

● 第13章

ル「……やっと来たねえ、キミい……。」

ちゃんと決めたことって言ったってさあ……。

ホントの彼女で、赤ちゃんまで作らせた女、

ここまで放置してるとかどうよ？

ま、別にいいけどね。

だって、ルビイはあ……♡

キミが最後の最後には、

ちゃあんとルビイのこと選んでくれるって、

信じてるからねえ……♡

だから、しょ♡

この二日、バカ姉どもとイチヤコラしやがった分……♡

今日一日でしっかり返してもらおうからねえ……♡

っはぁ……♡ んふふ……♡

っぁん♡ あはぁ……♡

最初はこっちからしたげるよ♡

ほぅら、お手々ぎゅって握ってえ……♡

らぶらぶ恋人騎乗位だぞお……♡

んっうん……♡

っおうっ、っふうう……♡

はっ、ふっ、はっぁぁ……♡

おおっ、っうんっ、っんうんっ、んんうおおん♡

おっんっ、っおおっ、おうっ、っうっ、おおおう♡

んっうん……♡

っはぁ、っふう、はっぁ、はぁぁ……♡

気持ちいい、よお……♡

今日までずっと我慢してた、キミのおチンポ……♡

恋人セックスう……♡

んっううっ、はっぁぁ……♡

おまんこぞくぞく、感じちゃう……♡ くっうん……♡

んっ、んっ、っおっ、おおんんおおおっ♡

うおおっ、おっんっ、っおおっ、おうっ、うっ♡

はっああああ……っ♡

んうん、はっああ……♡

ほら、飲んで、飲んでえ……♡

キミのためのおっぱい、いっぱい出るからあ……♡

んっうん……っ♡

はっ、んっ、んっくう、はっああ……っ♡

おおっ、おっうっ、っんんっおおおっんんっ♡

おおっんっ、っおおおおっうっ、っうっ、っおおおっ♡

ああ、気持ちいい……っ♡

キミの硬くておっきいおチンポお……っ♡

このおチンポ、今までずっと、ルビィのものだったのに……っ♡

あのバカ姉どものせいで……っ♡

いつも勝手に使われちゃってえ……っ♡

絶対絶対渡さない……っ♡

あいつらなんかにつ、渡してなるものかあ……っ♡

このっ、このお……っ♡

おまんこぎゅうぎゅう締め付けてえ……っ♡

おチンポに刻み込んでやるう……っ♡

くっ、くううっ、んくううっ、っおおお……っ♡

おっうっ、っんんっ、んおおっ、っんんんおっ、んんん……っ♡

んんんうっ、っおおっ、おっ、おんんんっ、おおおっ♡

っふううっ、くううう……っ♡

ふっ、はっ、はっ、んっおおお……っ♡

おうっ、っうっ、っおおっ、おっ、うっ、んんんっ♡

おっ、おっ、おっんっ、んおっ、おおんっ、ん……っ♡

っああ、だめえ……っ♡

キミのおチンポ、負かしてやろうとしたけど……っ♡

キミのが、強すぎて、かっこよすぎて……っ♡

勝てない、やあ……っ♡ あはあああ……っ♡

んっあっ、んっううっ、んうっ、っおおお……っ♡

んんっ、おおおおっ、おおおおおっ♡

うおおおおっ、おっ、おおっ、おおおっ、ほおおお……っ♡

ふううっ、くううううっ、んうっうん……っ♡

はっああん……っ♡ はっあ、くうう……っ♡

んうんっ、っおおおお……っ♡

うっ、くっ、イッグ、イッグ……っ♡

うんっ♡ イクっ♡ おまんこ、イクから……っ♡

出して、出し、てえ……っ♡ おおお……っ♡

私の中につ♡ 熱いのたくさん……っ♡

いっぱい出してっ♡ おチンポ、イッてえ……っ♡

っおおお……っ♡ おチンポっ、あっっ……っ♡

うっくううっ、っおおお……っ♡

イック♡ イック、んっくうっ、っおおお……っ♡

うっ、あっ、あっああっ、んっうう……っ♡

おっ、おっ、おっ、っおおお……っ♡

んううっ、ほっおおっおお……っ♡

っあっああ……っ♡

いっぱい、おっぱい、吸われて、飲まれてえ……っ♡

あはっ♡ 中にもたくさん、出してもらってるっ……っ♡

んっ、っふっ、くうう……っ♡

ああ、中出し気持ちいい……♡

キミも、ルビイのおっぱい、おいしかったあ？

んふふ……♡

はあ、はあ、はあ……♡

まだ、できるよね……♡ まだおチンポ、できるよねえ……♡

んっうんっ、ああ……♡

なら、今度はキミの方からだよ……♡

キミのおチンポでルビィのこと、いっぱい、感じさせて……♡

っおおお……♡

ずんずんっ、来たっ♡ んっくっ、おおっおお……♡

んっほ……っ、おっ、おっ、おおおっ、んっおお♡

おおおっお……♡ んいいい……♡

ふっ、くっ、くううっ、んっおお……♡

んっういい……♡

はっああ……♡

キミからしてもらうのも、いいよねえ……♡

キミがルビィのこと、好きだって言うのが、

ちやあんと、伝わってくるからさあ……♡

んひひ……♡ わかるってえ……♡

そう照れるなよ……♡

キミのおチンポは、口以上に……っ♡

おしゃべりなんだからぁ……っ♡

だから、ルビイも……っ♡

お手々ぎゅゅっていっぱい、握りしめてえ……っ♡

おまんこもキツく締め付けてえ……っ♡

ふっ、はっ、くううん……っ♡

キミのこといっぱい……っ♡

好き好き〜って、し返してあげっからさぁ……っ♡

好き♡ 好き♡ だぁい好きい……♡

愛してるよぉ……っ♡

おおっおお……っ♡ おチンポ、激し……っ♡

んうおっ、くううん……っ♡

んっ、おっ、おう、んっ、んうっ、ひいっ♡

おっほおおおっ、おおっ、おおおおお……っ♡

んん……っ、うほおっ、おおおっ、おおお……っ♡

ほっおおっおおお……っ♡

大好きって言ってもらえてうれしいんだ？

うれしくて、おチンポはこぼこ止めらんなくって、んっひい……っ♡

っああ、奥っ、すごい刺さる……っ♡

おおっおおお……っ♡

おおっ、うっおおっ、おおっううう……っ♡

ほおっ、おおっ、ほっ、おおっ、んうおっ、おおおっ♡

へっ、はっ、ふっ、ふううう……っ♡

おチンポびくびく、いっぱい震えてえ……っ♡

また出したいんだ……っ♡

びゅーびゅーたくさん、中に出したくなっちゃってんだあ……♡

いいよ、出して……っ♡

熱いのたくさん、たっくさあん……♡

ルビイの子宮にぶちまけてえ……♡

ルビイのこと、孕ませてよお……っ♡

んひひひ……っ♡

おお……っ♡ チンポ、すぐ、おっき……っ♡

ほっおお……っ♡

おおっ、んうおお、おおお……っ、んっうっおお……っ♡

んおお……っ、んんんおお……っ、おおっんっ、んんんっ♡

うんっ♡ 孕ませて、孕ませてえ……♡

キミの赤ちゃん、もう、デキちゃってるけどお……っ♡

それでももっかい、ルビイのこと、孕ませちゃうような……っ♡

濃おい精子い……っ♡

中に出してっ♡ いっぱい出してえ……っ♡

熱々ドロドロ種付けおチンポミルクう……っ♡

いっぱい出してねえ……っ♡

ルビイのおまんこで、気持ちよく、なってえ……っ♡

おおお……っ、おおおっん……っ♡

ほおおおおお……っ、おおおおお……っ、おお……っ♡

んっううう……っ♡

来るっ♡ 来るっ♡

手つなぎ交尾で赤ちゃん孕ませ射精い、来るうう……っ♡

おっ、んうんっ、んっおっ、ほっおおお……っ♡

んっ、おっ、くうっ、ほっおおお……っ♡

んっうう、っおおっ、んうおおっ♡

くうううん……っ♡ イググううう……っ♡

んうおおおっ、んっいいいいっ♡ くうううう……っ♡

はあっああっあああ……っ♡

おおおっ、っくうっ、ほおおっ、ふうっっっ……っ♡

はっ、はっ、はっ、はああ……っ♡

はー……♡ はー……♡

ああ、気持ちよかったぁ……♡

恋人孕ませおチンポぁ……♡

惚れ直しちゃうってえ……♡ かつこすぎぃ……っ♡

ふー……♡ ふー……♡ ふー……っ♡

んっう……？

っおお……っ！？

んうおっ、くうん……っ♡

あはっ、またっ、始まってっ♡

おおおっおおお……っ♡

おおお……っ、おおん……っ、んんおおおお……っ♡

おおお……っ、おっんお……っ♡

うんっ♡ うんっ♡ いい、よお……っ♡

ルビィももっと、キミとしたいってえ……っ♡

思ってたし……っ♡ んっおお……っ♡

ほおおお……っ、おお……っ、おっお……っ♡

んっお、おっほ、っおおお、んっおおお……っ♡

っはぁ、はぁぁぁ……っ♡

ぁぁ、好きっ♡ 好きっ♡ 大好きっ♡

んっうんうおお……っ♡

大好き、大好きいい……っ♡

ぎゅっって、キミのことお……っ♡

おまんこだけじゃなくって、全身でえ……っ♡

ぎゅっぎゅっぎゅうって、抱きしめちゃうからぁ……っ♡

キミは、ルビイのおまんこ、かっこいいおチンポで、いっぱい……っ♡

っおおお……っ♡

おっ、おっ、おっ、おっおおっおお……っ♡

んっ、うおおおんっ、おんっ、んっ、うんおっ♡

ふううっ、うううう……っ♡

好き好きっ♡ すっきっ♡ 大好き♡ 大好きいいいい……っ♡

おおんっ、うおんっ、おおうおおうっお……っ♡

おお……っ、おお……っ、おっほおおお……っ♡

信じて、るよお……っ♡

キミのことお……っ♡

キミはっ♡ ルビイのこと、ちゃんと、んっお……っ♡

選んでくれるって、さぁ……っ♡

っおっおっお……っ♡

ルビイが一番だなんて、当たり前……っ♡

ルビイもお……っ♡ ルビイの赤ちゃんもお……っ♡

キミといっしょにいたいって、思ってるんだから、ねえ……っ♡

キミはっ、っおお……っ♡

ルビイの……っ♡ 一番のお……っ♡ おおお……っ♡

んっおっ、おおおっ、くううっ、おおお……っ♡

ルビイが見つけた、世界で一番の、宝物だからぁ……っ♡

おお……っ、お……っ、おおっ♡

う……っ、おお……っ、おっ、おおお……っ、お……っ♡

おおっ、おっほっ、おおおっ♡

おおおっ、おっ、おっうっ、おお……っ、おおっ、おお……っ♡

うんっ♡ うんっ♡ 出して、またぁ……っ♡

三度目っ♡ 中出し……っ♡

熱いのたくさんっ♡ どびゅどびゅ、出してえ……っ♡

中出し、たくさんっ♡ あっあっっ♡

びゅっびゅっびゅううう……っ♡

おチンポイッで、おチンポイッで……っ♡

出して、出してっ♡ イッグ、からぁ……っ♡

おまんこイッグ、イッグ、イッグうううう……っ♡

ほおおおっ、おおおっおおお……っ♡

んううおおおっ♡ くうううっ♡

ほおおおおお……っ♡

おまんこっ、いっぎゅうううう……っ♡

うっ♡ おっ♡ おっおおっ♡

くううん……っ♡

んううおおっ♡ ほおおおお……っ♡

うううん……っ♡ んっうううっ♡

ほっおおお……っ♡

はっ、くっ、ふううっ、っおおお……っ♡

出てる、また、いっぱい……っ♡

大好きな人の、あったか精子……っ♡

いっぱい出して……っ♡

んっうんっ、ほっおおお……っ♡

はー……っ、はー……っ♡

くううっ、はっあああ……っ♡

はっ、ふっ、はっ、はっあああ……っ♡

ああ、熱い……っ♡ おまんこ、あったかくって……っ♡

幸せだよお……♡

はー……♡ はー……♡ はあああ……っ♡

ふう、はあ、はあ、はああ……っ♡

あは……♡

キミのこと……♡ 信じてるからね……♡

ルビイのこと、見捨てないでね……♡

お願いだから……♡

ね……?」

● 第14章

ル「さあさあ……♡

ついにこの日が来ちゃったね♡」

べ「今日がすべての決着の日……♡

お前が誰を選ぶのか、決める日だぞ♡」

レ「最後に全員と一回ずつ、セックスして……♡

誰が一番、あなたのおチンポにふさわしいのか、

決めてもらうからね♡」

ル「もちろん、ルビィだよねえ……♡

ほらほらあ……♡

キミのおチンポ受け止められるのはあ、

ルビィの恋人おまんこだけでしょ？

ここにずぶうっておチンポ入れてえ……♡

ルビイのところに帰ってきてえん♡」

べ「いいや♡ お前は俺のものだ……♡

これからは俺と一生、

毎日朝から晩までハメまくるんだよ……♡」

レ「そのぐらい、私だってえ……♡

あなたの精液、毎日子宮で受け止めて……♡

おチンポのイライラに困る事なんて、

なくしてあげちゃうから……♡

あ……♡

あは♡ 来てくれるのね♡

やったあ……♡

んっう……♡

っおっおっお……♡

くおっおっお……♡

いきなり、激し……♡

んっうううん……♡

っああ♡ 気持ちいい……♡

おまんこ交尾い……っ♡

あなたのおチンポっ♡ 本当に……っ♡

私に、ぴったりでえ……っ♡」

ル「やぁあん……♡

なんでレッド姉からなのお♡

こっちだって、キミとえっちしたくって、

うずうずしちやってるのにい……♡

ほら、ほらぁ……っ♡

私のデカ尻、キミのおチンポ欲しくて♡

えっちなおねだり止まらなくって、

やらしい腰振り……♡ エアセックス……♡

始まつちやってえ……っ♡

っぁあっ、んっううん……っ♡

おまんこ汁、止まらないよお……っ♡

っはぁ、はっぁぁぁ……っ♡

くうっううん……っ♡

あっぁぁ……♡

おっぱいも、溢れてえ……♡」

べ「ああ……♡ くそお……♡

こっちも興奮、治まんねえ……♡

レッドが犯されてるの見ながら、

自分がチンポしてもらってるみたいにい……♡

んっ♡ ふうつ、ほっおお……っ♡

くうううああ……っ♡

ああ、早く、チンポ、チンポお……♡」

レ「っおおおっおおお……っ♡

くうううん……っ♡

ばんばん好きっ♡ お尻っ♡ ばちゅばちゅっ♡

メスまんこ犯されまくりでっ♡

あなたのおチンポっ♡ どんどんっ♡

空きにされちゃってえ……っ♡

んうううおっ♡ ほっおおお……っ♡

くううううん……っ♡

お尻っ♡ 指っ♡ 掴まれてえっ♡

おおおお……っ♡

ほおっ♡ んうっおおっ♡

揉みくちやつ♡ されながらっ♡

ずぶずぶうっ♡ ずぶずぶうっ……っ♡

んっおおおお……っ♡

おおっおおお……っ♡

おまんこイッグ……っ♡

おまんこ、イッグううう……っ♡「♡」

ル」ほら、出して、出してえ……♡

早くレッド姉に中出ししてえ……♡

次は私い……♡ こっちのおまんこお……♡

恋人おまんこにザーメンぶちまけてえ……♡

っおおお……っ♡

でないと、おまんこうずうずしすぎて、

バカになっちゃうからあ……っ♡

ふっ、はっ、ふっ、ふううう……っ♡「♡」

べ」さっさと出しちまえ……っ♡

お前の濃厚ザー汁、レッドにどっぷり中出しキメてえ……♡

早くお前のチンポ、俺にもよこせよお……♡

っあああ……っ♡

早くっ♡ 早くっ♡ 早くっ♡ チンポお……っ♡

精液、俺の子宮にい……っ♡」

レ「うっおおっおお……っ♡

だめっ♡ だめえっ♡ もっと私と……っ♡

私とおまんこっ、続けてっ♡ っおお……っ♡

イグ♡ イグっ♡ おまんこイグけどっ♡

抜いちゃだっ♡ イキ続けても……っ♡

おまんこしたいっ♡ セックスしたい……っ♡

ずっとあなたと……っ♡

おまんこ孕んでもっ♡ ずっとハメハメっ♡

いっぱい、いっぱいっ♡ おおおお……っ♡

んっおおっ♡ イグイグっ♡ イグっ♡

んううんっ♡ おおっおお……っ♡

イグイグイグっ♡ んいっぐっ♡

おおお……っ♡

んううおっ♡ ほおおっ♡ くううっ♡

ほおお……っ♡

くううっおおっ♡ ほっおおお……っ♡

うううううう……っ♡ 出てっ♡ 射精いっ♡

中にいっばいっ♡ 種付けっ、びゅっびゅううう……っ♡

っくううっ、ほおっおお……っ♡

だめ……♡ チンポ、抜いちゃダメ……っ♡

ふっ、ふっ、ふっ、ふううう……っ♡

っおおおお……っ♡

だ、め……っ♡ だめえ……♡

おまんこ、切ないのに……♡

くうううう……っ♡「♡」

ル」あはぁっ♡ ほらほらっ♡ キミいっ♡

おまんこどうぞ♡ こっちにどうぞ♡

こっちのおまんこ、準備完了してるだからぁ……♡「♡」

べ」俺のまんこも、とっくに濡れ濡れで、

お前のチンポ、奥まで飲み込めるから……っ♡

こっちに来いっ♡

ハメてくれっ♡ 入れてくれえっ♡

ああ……っ♡ 来た、来たぁ……っ♡

んっひ……っ♡

おおっおおお……っ♡

くうううう……っ♡

ハメチンポっ♡ 気持ちいい……っ♡「♡」

レ「んっうん♡ やああ……♡

まだ足りないの……♡

おまんこもっ、おまんこもっとお……♡

おっとおまんこしてほしいの……♡

あっああ……♡

あなたのおチンポ♡ もっとたくさん……♡

身体、あっつくなっちゃって……♡「

ル「うううん……っ♡

また後回し……っ♡

恋人おまんこだから、最初にしてくれてもいいでしょうが……♡

最初はルビィ……♡ 次もルビィ……♡

最後もルビィで、ずっと恋人セックス……♡

浮気セックスばかりしてるキミなんかキライ……♡

キライだけど♡ 大好き……っ♡

はっああん……♡「♡」

べ」おおおお……っ♡ まんこっ♡

気持ちいいのっ♡ 止まんねえ……っ♡

これっ♡ 好きっ♡ チンポ好きっ♡

この島で遊ぶよりもっ、何よりもおっ♡

お前とセックスするのが好きいい……っ♡

これさえあればっ♡ 俺はっ♡

他に何にも……っ♡ この島だっっ♡

船だっっ♡ 何もいらない……っ♡

お前とセックスっ♡ お前のチンポがあればっ♡

くうっううん……っ♡

っおっおお……っ♡ イグイグっ♡

イググっ♡ まんこ幸せすぎてっ♡

まんこイグっ♡ ほおおおお……っ♡」

レ「出せ♡ 出せ♡ 出させえ♡

チンポイケ♡ チンポイケ♡

とつととベリルに中出し済ませて、

また私とらぶらぶしようよお……♡

はっあああ……っ♡

おっぱいこんなにouchやうぐらい♡

興奮、治まらなくてえ……♡」

ル「出しちゃえ出しちゃえ♡♡

おチンポミルク、どぶどぶ出して♡

そしてえ、キンタマの奥底に残ってるう、

いっちばあん濃いい♡ザー汁♡♡

恋人まんこにびゅーびゅーするのお……♡

ねばねばどろどろあつついのお♡

奥にちょうだい……♡♡

ああ、キミのおチンポ、早く欲しいよお……♡♡

ハメたい♡♡ハメたあい……♡」

べ「うううう……♡♡

だめ♡♡来る♡♡強い来る♡♡

えっぐいアクメ♡♡チンポから♡♡

脳みそとろける幸せアクメ来る♡♡

来る♡♡んっおお♡♡ほおお……♡♡

イグイグイグ♡♡

デカケツ♡♡痕が残るぐらいに握りしめられてえ……♡♡

ばんばんばこばこ波打たされてっ♡

ドスケベケツパコ交尾でイッグっ♡

おまんこ幸せらぶらぶアクメでイッグ♡

イッグ♡ イッグ♡ イッグうう……っ♡

おおおおお……っ♡

イグイグイグイグっ♡ イッグっ♡

ほおおっおおお……っ♡

くうううおおっ♡ ほおおおっおおお……っ♡

んっいいいい……っ♡ 濃いっ♡ 精子っ♡

いっぱい来てるっ♡

孕ませザー汁っ♡ びゅびゅびゅびゅ……♡

ふううううっ♡ おおっおおお……っ♡

お腹が、熱いい……♡ んっうう……っ♡

はっ、はっ、はっ、はっあああ……♡

っおおお……っ♡

ふう、ふう、ふう、ふうう……っ♡

レ「やっと終わったあ……♡

ほらほらあ♡ こっちに来てえっ♡

子宮まだまだ隙間いっぱいだからあ♡

この隙間全部う、あなたの精子で埋めてえ……♡」

ル「バカ言うなあ、レッド姉っ♡

最後はもちろんルビィでしょっ♡

一番最後の恋人おまんこっ♡

どれだけ、何回浮気してもっ♡

最後に恋人おまんこセックスしてくれればあっ♡

それで仲直りだもんねえ……♡

あはあっ♡ ほっら♡ ルビィの言うとおりい……♡

んうおおお……っ♡

おおおおっおおお……っ♡

んうおおおおおお……っ♡

彼氏チンポお……っ♡

気持ちいいいいいい……っ♡」

べ「はっあ♡ はっあ♡ はああ……♡

ああ、もっとおまんこ、おまんこっ♡

お前のチンポっ♡ ハメてほしい……っ♡

熱々精子っ♡ 全然足りねえ……っ♡

うううん……っ♡

おまんこ発情、止まんないってえ……っ♡」

レ」はっ♡ はっ♡ だめっ♡ 私もっ♡

おまんこふりふりっ♡ 尻肉揺らしてっ♡

エアセックスっ♡ 始めちゃってるっ♡

キミのおチンポここにあったらってえっ♡

おまんこたんたんっ♡ 勝手にいっ♡

っおおお……っ♡

くううっ♡ はあああ……っ♡」

ル」んんっ、んっお……っ、ほおっ、おっおおっ♡

んっ、んん……っ、おおっ、お……っ♡

ほおっ、おおおお……っ♡

ふう……う……うっう……っ♡

はっああああ……っ♡ 本物セックスう……っ♡

本物彼氏チンポっ♡ ばっちゅばちゅう……っ♡

ここまでずっと我慢してたからっ♡

おまんこ敏感でっ♡ おチンポいっぱいっ♡

感じちゃうううう……っ♡

おおおおお……っ♡

おまんこ奥までっ♡ 子宮の奥までっ♡

おチンポぶっこまれてくるぅ……っ♡

好き好き好き好きっ♡ だいしゅきっ♡

だあいしゅきいいいい……っ♡

んうおおっおおお……っ♡

はっあああ……っ♡

おっぱいミルク止まんない……っ♡

おまんこ汁もいっぱい漏れりゅ……っ♡

気持ちよすぎて全部出るっ♡ 全部出るぅ……っ♡

おおっおおお……っ♡ 来る来る来る……っ♡

べ「あっあああ……っ♡

イケ♡ イケ♡ チンポイケっ♡

早くっ♡ 早くっ♡

レ「もう一周っ♡ もっかいセックスっ♡

一回じゃ治まんないからっ♡

チンポっ♡ イッてえ……っ♡

ル「お……っお……おおっ、んんん……っ♡

おおっ、ほおおっ、おおお……っ♡

おっ、うっお……っ、おおおおっ♡

おっおっ、おおおっ、ふううっ、うお……っ♡

んうううう……っ♡

おまんこイッグっ♡ 彼氏チンポでっ♡

ラブアクメえっ♡ おおおお……っ♡

イグイグイグイグイグイグイグっ♡

おおっおおお……っ♡

来てっ♡ 来てっ♡ 孕ませザー汁っ♡

キンタマ濃厚チンポ汁っ♡

出して出して出してえっ♡

おおおおっ♡ うっおおおおっ♡

んいいいっ♡ んっひいいい……っ♡

くっおおお……っ♡

うおおおおっ♡ くううっおおお……っ♡

んっいいい♡ んっひいいい……っ♡

ああああ……っ♡ 気持ちいい……っ♡

チンポ汁、どくどく……っ♡

っああああ……っ♡ 恋人中出しセックスう……♡

種付けの瞬間、幸せ過ぎいいい……っ♡

っふう、っふう、ふうう、はあああ……っ♡

はあ、はあ、はあ……♡

ぬっふう……っ♡ うううう……っ♡

べ「ほらっ♡ 次っ♡ 次俺っ♡

またチンポっ♡ チンポおっ♡」

レ「もっとおチンポっ♡ 私にもっ♡」

ル「だめえ……♡ 次もルビィい……♡

恋人交尾、まだ続けるのお……っ♡

いいよねえ、キミい……♡

んひひひ……♡」

ル「はああああ……っ♡

っはあ、はあ、あっはあ……♡」

べ「っああ♡ やっべ……♡

体力、限界……♡」

レ「ずっとヤリっぱなしで……♡

さすがに、もう……♡

ふう、ふう……♡」

ル「それで、結局キミは、誰を選ぶの……？」

ベ「ここまでやり尽くしたんだ……♡

もう、結論出てんだろ……♡」

レ「さあ、答えて……♡

あなたの選択は……？」

ル「キミは、誰の物になるの……？」

ベ「お前は、誰の物になる……？」

レ「あなたは、誰の物になる……？」

● 第15章

ル「じゅるるるるずずうう……っ。

ぷはぁ……っ。

あゝ……、今日もいい天気だねえ。

ほうら、キミキミ。

キミももつとくつろぎたまえよ。

ここはあのバカ姉ども専用のプライベートビーチで、

ルビイたち以外の人はいないんだからさあ。

あゝ、極楽極楽♡

じゅずずずずう……っ。

ぷっはぁ……。」

へ「にいたのか。

まったく……。

確かに入っているとは言ったが、
だからって遠慮なしにくつろぎすぎだろ？」

レ「それに、もう一月近く

この島に滞在してるけど……。 船の方はいいの？ ルビィ船長？」

ル「大丈夫だってえ。 ちゃんとして仕事は与えてきてるしさあ。

あいつらも毎日この島で遊べて楽しそうだし……。

だいたい、この島を離れられないのだって、

元々はあるたらのせいでしょうが。」

べ「そ、それは……。

俺らの中で一番を決められない、そいつのせいでもあるだろう。」

レ「自分は誰か一人なんて選べないから、

みんなで仲良くしてほしい、なんて……。

そういう風に願ってくれたのは、

ありがたくはあるんだけど……ねえ？」

ル「それはそれとして、一番にはなりたいくなんて、

毎日おチンポ狙いに来やがってよお。」

スケベどもめ。」

べ」「うるせえっ。

三人横並びだなんて、俺のプライドが緩さねえんだっ。

そらっ、わかってんならとっとと始めんぞっ♡

今日こそそいつを俺のものにしてやる……っ♡」

レ「もちろん、私も……♡

今日こそあなたを、私が奪っていくからね♡」

ル「はぁぁ……。やれやれ、まったく……。

仕方ないなあ……♡

今日もキミのおチンポで、

楽しまなくっちゃあいけないじゃんかぁ♡

んふふ……♡

それじゃあ今日はぁ……♡

ほら、レッド姉、そこに四つん這いになって、

ケツ向けて♡」

レ「は？……何をするつもり？」

ル「いいからいいから♡

ほら、言うこと聞く♡」

レ「ふうん……？」

はい、これでいい?」

ル「そんなじゃ、ちよいと失礼〜♡

よいしょっ♡」

レ「ぐえ……っ。お、重い……っ。

何するのっ、ルビィ……っ♡」

ベ「ははぁん……っ♡ そういうことかぁ……っ♡

そんじゃあ俺も……っ♡

ほら、またその上に乗っかってっ……っ♡

どうだ♡ エロ穴デカ尻三段だるまの完成だ♡」

レ「ぐっう……っ。

い、意図はわかったけど……。

やっぱ、重い……っ。

ル「好きなおまんこにハメちゃっていいからね〜♡

適当におまんこ突きまくってえ♡

好きなだけおまんこハメ比べしちゃっていいよぉ♡」

ベ「そんで、一番気持ちいい穴に、

好きに中出ししていいからな♡

誰の子宮に種付けするか……っ♡

楽しみだなあ♡」

レ「くう……。」

私が一番損な役回りしてるんだから……♡

私のこと、いっぱい気持ちよくしなさいよね……♡

んう……♡

あは♡ ホントにおチンポ、してくれるの？

ありが……♡

とっおお……♡ んっうっおお……♡

はっああっ♡ くっうん……♡

んっおっおお……♡

おチンポ、いい……♡

やっぱこれ♡ このチンポ♡

これがないとお……♡

一日、やる気、出ないんだからあ……♡

んっうん♡ ほおおっ♡

くっううん……♡

んおあ……♡「

ル「んっいいん……♡ 次っ、ルビィ……♡

ああ、彼氏チンポっ、気持ちいい……っ♡

お……っ、お……っ、おおお……っ、おっ、お……っ♡

んっ、んんっ、っふううっ……っ♡

くうううん……っ♡

んううおっ♡ ほっおおお……っ♡

そのままずっとルビイの中に入れっぱなしでえ……っ♡

おまんこびゅびゅびゅう♡

中出ししちゃっていいからねえ……っ♡

キミの彼氏は私だけなんだからあ……っ♡

他の女のおまんことかっ♡

使わなくてもいいんだからあ……っ♡

ううううん……っ♡

んんっ……んお、おん、んっ、お、おお、ううっ♡

おん、おんっ、お、おっ、うん、んっ、んっく、んっふ……っ♡

っおおっおおお……っ♡

っはあああっ、くううう……っ♡

ねっ♡ ねっ♡ だからっ♡

おチンポっ♡ 抜いちゃダメえ……っ♡

んっ♡ おっ♡ うううんっ♡

ほっおおっおおおお……っ♡

うっ♡ おっ♡ おおっ♡ んっおお……っ♡

んっうん……っ♡「♡」

べ「っあああ……っ♡

やっと、来たあ……っ♡

待たせすぎだぞっ♡ お前ええ……っ♡

んっおおっおおお……っ♡

あっあああ……っ♡

チンポっ♡ 気持ちいい……っ♡

このチンポ……っ♡ 絶対っ♡ 逃がさねえ……っ♡

俺のものにするまでえ……っ♡

この島から出さねえからなあ……っ♡

っおおお……っ♡

はああっあああ……っ♡

くううっ♡ おおっおおお……っ♡

もっとっ♡ もっと突いてくれえ……っ♡

いっぱいっ♡ ずぼずぼっ♡

おまんこ突いてっ♡ 突いてっ♡

突いてっ♡ 突いてええ……っ♡

んっいいいい……っ♡

っはぁ、っはぁ……っ♡」

レ「ほら、また私……っ♡

また私のおまんこにつ、おチンポ……っ♡」

ル「っおおっおおお……っ！？」

ルビィにつ、またぁ……っ！？」

レ「な……っ。なんでえ……っ。」

ル「おほおっ……おおんっ、おんっ、いや、やん、んおう、おう♡

おん、おんっ、んおっ、んおうっ……っ♡

んおっ、おん、んくっ、んうっ……っ♡

んっおおおっ♡ くううううん……っ♡

やっぱ……っ♡ 恋人セックス……っ♡

彼女おまんこがっ♡ 一番って事でしょお……っ♡

んっううん……っ♡

おほおっ……おおんっ、おんっ、いや、やん、んおう、おう♡

おん、おんっ、んおっ、んおうっ……っ♡

んおっ、おん、んくっ、んうっ……♡

んっお……っ！?」

レ「んっいいん……っ！?」

っおおおおっ♡ ほっおおお……っ♡

うううっ♡ ほっおおお……っ♡

やったっ♡ また来たっ♡ おチンポっ♡

ほおおっおお……っ♡

おチンポぱんぱんっ♡ 気持ちいい♡

んうおおっおお……っ♡

うううっ♡ ほおおっ♡ んううん……っ♡

んっいいっ!~?」

べ」おおおおっおおお……っ♡

くうううう……っ♡ もうっ、適当にっ♡

まんこハメてるだけっ♡ じゃねえか……っ♡

なんだかんだでお前もっ♡

俺たちと同じでえ……っ♡

ドスケベなっ♡ チンポお……っ♡

ううううう……っ♡ おっ♡ んうううっ♡

ほおおっ♡

くううん……っ♡

っおおっおお……っー？

熱っ！？ 射精っ！？ ザーメン、出……っ♡

不意打ちっ♡ 中出し……っ♡

うおっおおっおお……っ♡「♡

レ「んっおおっおお……っ♡

中出ししたばっかのおチンポ……っ♡

また、中に……っ♡

おおおお……っ♡

おチンポっ♡ あっついっ♡

硬……っ♡ おおっおお……っ♡

こんなに硬いおチンポ……っ♡

うううおっ♡ くううん……っ♡「♡

ル「んっいいん……っ♡ んっおおっ♡

ほおおっおお……っ♡

んうっ、んお、んおう……♡

んっ、おお、おおんっ、おんっ、いや、やん♡

うおおおおお……っ♡

チンポっ♡ 彼氏チンポおっ♡

んうおおおっおおお……っ♡

すごいっ♡ 気持ちいいっ♡

気持ちいいからぁ……っ♡

勝手にベリル姉に出したのっ♡

許してあげるう……っ♡

だから次はっ♡ ルビィだよぉ……っ♡

ルビィに中出し……っ♡

いっぱいびゅっびゅうう……っ♡

んおう、おう、おん、おんっ、んおっ、んおうっ……っ♡

うっく、うぐ、うおおんっ、おん、ほおっ、おほっ、おほおっ……っ♡

べ」っおおっおおお……っ！？

またっ♡ き……っ♡ おおお……っ♡

チンポっ♡ チンポぁ……っ♡

はっぁぁぁ……っ♡

はは……っ♡ チンポっ♡ ガチガチでえ……っ♡

またっ♡ 射精しそうじゃねえか……っ♡

また俺の中にっ♡ 出してくれるのか……っ♡

俺の子宮っ♡ まんこいっぱいっ♡

ザーメンびゅーびゅー……っ♡

っおおお……っ♡

チンポ震えて……っ♡ 射精来る……っ♡

精液っ♡ 中出し……っ♡

びゅるびゅるっ、ぶっびゅううう……っ♡

おっ♡ おっ♡ おっ♡ おっ♡ おっ♡……っ♡

っおおお……っ♡「♡」

レ「んっうううん……っ♡

っああっ♡ うそっ♡ 来るのっ♡

射精来るっ♡ イキかけおチンポっ♡

奥にぶっちゅりっ♡ 子宮にくっついてっ♡

おっ♡ おっ♡ イグイグっ♡ イググっ♡

射精来るってわかってっ♡

おまんこイググ♡ おまんこイググ♡

同時アクメえっ♡ おおっおおお……っ♡

おおっおおおっ♡ んいはいっ♡

ふんうおおっおおお……っ♡

おっおおお……っ♡ 動きっぱなし……っ♡

射精っ♡ してるのにっ♡

ばんばんっ♡ おまんこっ♡

んっうんっ♡ ほおおっおおお……っ♡

うっ♡ うううっ♡

中出しおまんこっ♡ シェイクされてっ♡

これっ♡ すっ♡ おおお……っ♡

んっひっ……っ♡「♡」

ル」っおおっおおお……っ♡

おおおっ、おっ、ほおっ、おんっ、おん、おんっ、やんっ、ふおおっ♡

おっ、おっい、んお、おおん、おっ、おんっ♡

んううん……っ♡ またっ♡ 中出し……っ♡

後回しにされたぁ……っ♡

たまにはルビィのおまんこっ♡

先に甘やかしてよおお……っ♡ くううん……っ♡

んう、んお、んおっ、おっ、おっ、おっ、おっ……っ♡

ん、っく、ん、んふう、んお、おう……っ♡

でもっ♡ でもっ♡ 次はルビイにっ♡

いっぱい出してくれるってことだよねえ……っ♡

キミは優しい、ルビイの彼氏なんだからあ……っ♡

んお、お、んおっ、おおっ、ううおっ……っ♡

んお、んう、おん、うん、おん、おんっ、んんお♡

んっううっ♡ おおおおお……っ♡

はっあああ……っ♡

キミの赤ちゃんもお……っ♡

妊娠しちゃってるんだからあ……っ♡

いっぱい、愛してくれるよねえ……っ♡

んふふう……っ♡

んっお……っ♡「♡」

べ」おおっおおっおお……っ♡

っあああ……っ♡ 奥っ♡ ぐちゅぐちゅっ♡

精液でたぶたぶの子宮っ♡

ずんずん突かれてっ♡ ううっ♡ おおお……っ♡

ううううう……っ♡

くっそお……♡ このままもっかい、中出しっ♡

してほしいのに……っ♡

ルビイのための精液……っ♡

キンタマに溜め込む手伝いなんてえ……♡

っおおお……っ♡「

レ」ほおおお……っ♡

っううっ♡ おおっおおお……っ♡

やっぱりっ♡ あなたは……っ♡

誰も選べないなんていいながら……っ♡

ルビイのことをっ♡ 一番に……っ♡

っおおお……っ♡

くううん……っ♡

それはっ、赤ちゃん……っ♡

妊娠しているから……っ？ ふっうっ……っ♡

でも、そうだとしたら……っ♡

っおおお……っ♡

はっああ……っ♡「

ル」んっうううん……っ♡

おチンポ、お帰り……っ♡ おおっおおお……っ♡

んっうんっ♡ おおお……っ♡

おチンポ、あっつあつでえ……っ♡

おチンポ、イキそ、だねえ……っ♡

いいよ、出して……っ♡ おまんこ出してっ♡

最後に中出し……っ♡

キミのおチンポ、一番気持ちよくしてあげられるのはあっ♡

ルビイだからあ……っ♡ んっうん……っ♡

うううう……っ♡ イグイグっ♡

イッグっ♡ おまんこイッグっ♡

くううん……っ♡ ほおおおっ♡

うっぐ♡ イッグ♡ イッグっ♡

ぐううん……っ♡

んっ♡ おっ♡ おっ♡ ほっおおお……っ♡

んううんうおっ♡ おおおお……っ♡

くううんう……っ♡

んっううっ♡ ほっおおお……っ♡

はっああっあああ……っ♡

ふううっ♡ はあああ……っ♡

んううんっ♡ ほおお……っ♡

はっ、はっ、はっ、はっああ……♡

んっふっうん……♡

はー……♡ はー……♡ はああ……っ♡

はあ、はあ……♡

んふふ……♡ 中出し、ありがと……♡

やっぱキミって、最高だよ……♡

んふふ……♡「♡

べ「ああ……♡ おチンポお疲れ……♡

ほら、おっぱい飲んでくれ……♡

疲れが取れるように……♡「♡

レ「三人分……♡ 好きなおっぱい……♡

ごくごくしていいから……♡♡

っあんっ♡

くううん……♡ んっ♡ ふっ♡

はっああ……♡「♡

ル「んっううん……♡♡

ああ、もう……♡ あっちにっ♡ち♡

お口、向けてえ……♡

っああん……っ♡ 私たちのおっぱいは、

ドリンクバーじゃないんですけどぉ……♡」

べ「たっぷり母乳が溢れるおっぱいが、こんなにあるんだ……♡

そんな気分にもなるよなあ……♡

ふふふ……♡」

レ「あんなにおチンポかっこいいのに……♡

おっぱいごくごく飲むあなたは……♡

とってもかわいくて……♡

そんなあなたが、だあい好き……♡」

べ「俺も、お前のことが……♡

大好きだぞ……♡

よしよし、よしよし……♡」

ル「ルビィだつてえ……♡

大好き♡ 大好き♡ だあい好き……♡

一生いっしょにしようねえ……♡」

ル「愛してるよぉ……♡」

べ「愛してるぞお……♡」

レ「愛してるぅ……♡」

ル「あはぁ……♡」

おチンポお漏らししちゃってるぅ……♡」

べ「幸せすぎて、おチンポびゅっびゅぅ……♡」

レ「仕方のない人……♡」

ル「んふふふ……♡」

べ「くくくく……♡」

レ「ふふふふ……♡」

ル「じゅずずずぅ……っ。

ぷはぁ……。

あゝ、運動したあとの一杯は最高だねえ♡

メロンソーダ美味し♡」

べ「この島にあるものはすべて、第一級の品だからな。

美味くないわけないさ」

レ「まあ……だいたいがどこからの盗品だけだね。

だからこそ美味しいのだけど。

ふふふ……。」

ル「はいはい、わかってますよ。」

ああ、まったく。

島自慢はもう聞き飽きたっちゅうの。」

べ「ところでルビィ。

お前に報告することがあってな。」

レ「ええ。

本当はそのためにあなたたちを探してたのよ」

ル「はいはい、なんですか。お姉様がたく。」

べ「俺たち、妊娠してるんだよ♡」

レ「彼の、赤ちゃん……♡」

ル「ぶへぶほあっ!?!」

げっほっ。ごっほっ。

鼻っ、痛あっ。ううううああ……っ!?!

ごっふっ、ぐふ……っ。

な、なんだってえ……?。」

べ「だから、妊娠したんだよ。

さっきわかったことなんだけどな。」

レ「まあ、あれだけやりまくればねえ。

遅いぐらいっていうか……。」

ル「うう、くう……。」

そ、そりゃそうか……。考えてみれば当然……。

よ、よし、落ち着こう……。

っはあ……。メロンソーダはすべてを解決してくれる……。

落ちて着け落ちて着け……。

じゅうううう……っ。」

べ「それと、もう一つ……。」

レ「ママがこの島に立ち寄るんですって。」

ル「ぐぼぐぶはあっ!？」

ごっほっ、ごっほおっ、げはっ。

変なところ、入ってっ、ぐおおお……っ。

ふっぐ、ぐうううう……っ。

ま、ママって……!？」

あ、あの、ママ……!？」

ベ「ああ、そうだ。

世界最強の海賊……。

この海すべてを支配する大海賊……。」

レ「私たちの母親が、私たちに会いに来ちやうのよ……。」

ル「ま、まじでえ……？

う、うひ、うひひ……。

ああ、これはもう……。

笑うっきやないやあつ。

あはっ、あははっ、あはははあっ」

ベ「ホントだなあつ。

ふははははあっ」

レ「ふふっ、ふふふふふ……っ。っ。

ふふふ……っ」

ル「ど、どうしょっ！っ！？」

ベ「どうすんだよっ！っ！？」

レ「どうするのっ！っ！？」

● 第16章

ル「んふふ……♡ キミさあ……♡

ルビイたちにいっぱい甘やかされながら、

おチンポ気持ちよくなりたあいつて……♡

いいこと考えるよねえ……♡」

ベ「まったく♡ このベリル様に母乳、

浴びるほど飲みたいなんてなあ……♡

そう言われちゃあ、やらないわけにはいかねえだろ♡」

ル「はあい♡ おっぱいどうぞお……♡

好きなだけ飲んでいいからねえ♡

おっぱいごくごく飲みながらあ……♡」

ベ「たっぷりチンポ、しごこうな……♡っ♡

ほうら、しこしこ、しこしこお……♡

ル「うんうん♡ いいよお♡

その調子い♡ かつこよおくおチンポオナニ、

できてまちゅねえ……♡」

べ「上手にオナニ、えらいえらあい♡

ご褒美おっぱい、たくさん飲みまちょうねえ……♡」

ル「んうううん……っ♡

はあい♡ はあい……♡

ちゅぱちゅぱ♡ ちゅっちゅう……♡

おっぱいおいちいでちゅかあ……♡

よしよし、よしよおし……♡

おいちい母乳ごくごく飲んでえ……♡

おチンポいっぱい、むっくむくでちゅねえ♡」

べ「バキバキチンポからキンタマミルク♡

昇ってきてまちゅねえ……♡

出したいでちゅかあ？

おいしいおっぱいたっぷり飲みながらあ♡

くちゅあいチンポ汁♡

どばどば出たいでちゅかぁ♡?」

ル「いいでちゅよぉ♡

いつでもびゅーびゅーしてくれてえ……♡

キミのかっこいいお射精びゅっぴゅ♡

見せてくだちゃいねえ……♡」

べ「ほぅら♡ ほぅら♡

おっぱい交互にちゅうちゅうしながら、

チンポしこしこお……♡

精液どばどばいっぱい出せるように、

ぐっしぐっし……♡」

ル「根元から先っぱまで、いっぱいしこしこ……♡

おチンポ気持ちよおくしゅっしゅしてえ……♡

熱々ザー汁♡ どばどば出しまちようねえ……♡」

べ「ほぅら♡ ほぅら♡

イケ♡ イケえ……♡

チンポいっぱいどぶどぶ出せ出せえ……♡

びゅーびゅーびゅるるう♡

精子出せ出せえ……♡」

ル「出して♡ 出して♡ どばどばびゅっぶっ……♡」

熱々ミルク♡ いっぱい出してえ♡」

ル「イッて♡ イッて♡ イッて♡ イッてえ……♡」

べ「イケ♡ イケ♡ イケ♡ イケ♡ チンポイケえ……♡」

ル「びゅーびゅーびゅー……♡ ぶびゅびゅびゅびゅ……♡」

べ「ぶっぴゅっ、どっぴゅっ……♡ びゅるるっ……♡」

ル「いっぱい出てまちゅねえ……♡」

おチンポ気持ちよさそうでちゅねえ……♡」

べ「おっぱいごくごく飲みながら、たっぷりお漏らし……♡」

いい気持ちでちゅねえ……♡」

ル「これからも、

甘えなくなったらいつでも言ってくだちゃいねえ……♡」

べ「どんな時でもお前のこと……♡」

甘やかし射精……♡

させてあげまちゅからねえ……♡」

● 第17章

ル「はあい♡ どうぞお……♡

ルビィのおっぱい……♡ あったか母乳……♡

オナニーのオカズにしてくだちゃあい……♡」

レ「今日はたくさん甘やかしてあげまちゅからね……♡

赤ちゃんみたいに甘えながらあ……♡

ザーメンどばどばしちゃいまちようねえ♡」

ル「っあんん……♡」

レ「♡ううん……♡」

ル「んふふ……♡

はあい♡ おチンポちこちこお…………♡

いいこ、いいこ、いいこ、いいこお…………♡

おチンポオナニー、とっても上手…………♡

おっぱいちゅぱちゅぱも、すぐおく上手う…………♡」

レ「おチンポしこしこしごきながらあ、

おっぱいちゅっちゅう…………♡

興奮しちゃいまちゅねえ…………♡

キンタマぞくぞくしちゃいまちゅねえ…………♡

あっああん…………♡」

ル「んっ♡ あんっ♡ やあんっ♡

すごい勢いで吸われちゃいまちゅう…………♡

お口すぼめて、ちゅっちゅっちゅう…………♡

いっぱい出ちゃうう…………♡」

レ「赤ちゃんのための母乳なのにい…………♡

どばどばどびゅどびゅ、

空っぽになっちゃうぐらい、たくさん吸われてえ…………♡」

ル「はっああああ…………♡

おっぱいちゅうちゅうするじとに、

おチンポむくむく♡ いっぱい勃起い…………♡

ルビィたちをメロメロにするう、

かっこいいオスチンポになっちゃいまちゅねえ…………♡」

レ「そんなおチンポ見せられたらあ、

私たちまで興奮してえ…………♡

もっといっぱい、おっぱい出ちゃいまちゅよお…………♡」

ル「だからもっと、おチンポしごいてえ…………♡

いっぱいしごしごしてくだちゃあい…………♡

おチンポしゅっしゅう…………♡

おっぱいちゅっちゅう…………♡」

レ「息がはあはあしてまちゅよお…………♡

おチンポびゅっびゅ、したくなっちゃいまちたか…………？」

ル「いいでちゅよお…………♡

おっぱいたくさぐくごくしながら、

おチンポびゅーびゅー…………♡

気持ちいいお漏らししちゃいまちようねえ…………♡」

レ「おっぱいにたっぷり包まれてえ…………♡

おいちい母乳飲む飲むしながらあ…………♡

ぴゅっぴゅしまちようねえ……♡」

ル「はあい♡ はあい♡ はい、はい、はあい♡」

レ「おチンポどうぞ♡ どぴゅどぴゅどうぞ♡……♡」

ル「おチンポイクイク♡ おチンポびゅるる……♡

いっぱいどうぞお……♡」

レ「おチンポイクイク♡ おチンポびゅるる……♡

いっぱいどうぞお……♡」

ル「びゅっぴゅっぴゅ……♡

おチンポどっぴゅ……♡」

レ「真っ白おしっこしーしー……♡

気持ちいいでちゅねえ……♡

んふふ……♡」

ル「イクイクしながらおっぱいぐぐ……♡

甘々授乳オナニー♡

気持ちいいでちゅねえ……♡」

レ「おチンポよしよしのお手伝いぐらい、

いつでもしてあげまぢゅからねえ……♡

いつでもたっぷり甘えてくだちゃいねえ……♡

ル「んふふふ……♡」

レ「ふふふふ……♡」

● 第18章

ベ「はあい……♡ おっぱいぐずぞお♡」

レ「はあい……♡ おっぱいぐずぞお♡」

ベ「はっああん……♡

ちゅっちゅう、ちゅっちゅう……♡

おっぱいぐずぐず♡

とってもお上手っ♡」

レ「おっぱい飲む飲む♡

お上手でちゅねえ……♡

いいいいいいしてあげまあちゅ♡」

ベ「いいいい撫で撫でしてあげまあちゅからあ……♡

お前はチンポしこしこしごいて♡

気持ちよおくお漏らししまちようねえ♡

レ「はあい♡ おチンポちこちこ……♡

いっぱいどうぞお……♡

しゅっしゅっしゅっしゅう……♡」

べ「激しくしこしこ気持ちいいでちゅねえ♡

いっしょにおっぱいもいかがでちゅかあ？」

レ「甘い母乳ごくごくしながら、

おチンポちゅこちゅこお……♡

最高でちゅねえ……♡」

べ「ほうら♡ ほうら♡

いっぱいチンポ、しごいてくだちやあい♡

俺たちのおっぱいとお、美味しい母乳♡

チンポ気持ちよくする最高のオカズでえ、

チンポしこしこお……♡」

レ「おっぱいもっと強く吸ってくだちやあい♡

たくさん母乳、吸い出ちてくだちやあい♡

っああんっ♡

はあい♡ そうそう、そうでちゅよお……♡

おっぱいちゅっちゅう……♡」

へ「ふふふ……♡

しこしこ激しくなってきたねえ……♡

おっぱいちゅうちゅうもお、っあん……♡

どんどん強く……♡」

レ「キンタマミルク♡ 昇ってきたねえ♡

いいでちゅよお……♡

イクイクしまちようねえ……♡

おチンポイクイク♡ ザーメンびゅっびゅう……♡」

へ「おっぱいたっぷり飲みながら♡

いっぱい精液♡ どっぴゅうどっぴゅう♡

ほうら♡ イケ♡ イケ♡ イ〜ケ♡」

レ「いっぱい出せ出せ♡

熱いおチンポ汁♡ 私たちのおっぱい飲んで、

たくさんお漏らししまちようねえ……♡」

へ「出せ♡♡ 出せ♡♡ 出せ出せ♡♡ 出っせ♡」

レ「イケ♡ イケ♡ イケイケ♡ イ〜ケ♡」

ベ「ぶっびゅっびゅう……♡

どびゅどびゅびゅっびゅう……♡」

レ「びゅるるう……♡

どびゅどびゅ♡ びゅっびゅう……♡」

ベ「いっぱい出てまちゅねえ……♡

おチンポどくどく♡ お漏らしかっこいいでちゅねえ……♡」

レ「おっぱいいっぱい吸いながらあ♡

勢いよくおチンポしーしー♡

気持ちいいでちゅねえ……♡

んふふ……♡」

ベ「チンポたっぷり甘やかし……♡

まだまだいっぱいしてあげまちゅからねえ……♡」

レ「甘々おチンポオナニーの味、しっかり覚えてえ……♡

私たちから離れられなくてあげまちゅからねえ……♡」

ベ「<<<<<<……♡」

7 「♡……♡」

● 第19章

◆ ①

ル「おっはようっ♡

ほれほれえ、キミっ♡ とつと起きろよお♡

昨日はそんなに疲れてたんかあ？

一体ナニをしたのかな？ んっひひい♡

しっかしまあ、船長に起こされる手下なんて、どこにいるんだ？

仕方がないなあ♡♡

ま、ルビィ様は心のひろ～い船長だからな♡

特別に許してあげる♡

だからとつと起きて、顔洗ってこい♡

今日もルビィといっしょに、楽しく過ごすんだからなあ♡

んひひひ……♡」

◆
②

べ」そうらっ♡ いつまで寝てんだっ♡

もうおはようの時間だぞ、寝ぼすけめっ♡

このベリル様に起こされるまで眠ってるとは、

大した度胸じゃねえか？ ん？

そうだろう？ くくく……っ♡

今日は俺といっしょに街で遊ぶって約束だろう？

忘れたとは言わせねえぞ？

こちらら楽しみに待ってたんだからなあ♡

だからさっさと起きやがれっ♡

朝から飲むぞっ♡ はははははっ♡」



レ「あらあら……♡ まだ眠ってるの？

ほら、早く起きなさい。予定に遅れるわよ？

ふふふ……♡

ええ、おはよう♡

ひどいわねえ、私に起こされるまで寝っぱなしなんて……♡

今日は何するはずだったかしら？

ええ、そう。私と一日いっしょに過ごすのよ♡

遅れちゃった埋め合わせ……♡

もちろん、してくれるんでしょ？

ふふふ……♡ 期待してるわよ？」

ル「ほうら、キ・ミい……♡」

ベ「おはようの……♡」

レ「ミルクシャワーよお……♡」

ル「あは、おはよう♡

どう？ 朝からお顔にミルクシャワー♡

一気に目、覚めちゃったでしょ？」

ベ「ずいぶん気持ちよさそうに寝てたからなあ♡

つついかわいがってやりたくなったよ……♡」

レ「今日もいっぱい、母乳が溢れて止まらないの……♡

あなたがどうにかしてくれるんでしょう？」

ル「空っぽになるまで……♡」

ごっくんしちゃってよね♡

んひひひひ……♡」

べ「空っぽになるまで……♡」

ごっくんするんだぞ♡

くくくくく……♡」

レ「空っぽになるまで……♡」

ごっくんしなさいね♡

んひひひひひ……♡」

ル「はあい♡ 今日もお疲れさまでした♡

さっすがベリイの彼氏だよね♡

こんな時間までがんばってくれちゃうなんて……♡

だけど無理は禁物だぞ？

倒れちゃったら元も子もないんだからさ♡

今日はゆっくり休みもうねえ♡

そんで、明日は朝から、ルビィといっしょに……♡

イチャコラしようぜい……♡

そんじゃ、おやすみ♡

また明日あ……♡ ふふふふふ……♡ 「♡」

◆
⑥

べ「ん？　なんだ、もうこんな時間か。

ふふ、お前も遅くまでがんばるな？

ま、そういうところがいいんだが……♡

でも、そのせいでぶっ倒れられたりでもしたらたまんねえ。

今日はそろそろ休んだらいい。

なあに、時間はまだまだたっぷりとある。

続きは明日ってことにしようじゃないか。

ひと晩ぐっすり休んでさ。

また明日、いっしょにがんばろうな……♡

だから今夜は、これでおやすみだ♡

いい夢見ろよ？　ふふふふふ……♡「



レ「はあい、どうぞ……♡

あったかいお布団に、入っちゃいなさい……♡

そうそう♡

いつまでも起きてたって意味ないんだから♡

それより早く眠っちゃって、

元気になってまた明日、いろいろやればいいじゃない♡

疲れた身体で遅くまでがんばるより、

ぐっすり眠って体力回復させましょう♡

私も隣で眠ってあげるから、ね？

ふふふ……♡

ええ、おやすみなさい♡ また明日……♡」

ル「んっうん……♡」

べ「んっはぁ……♡」

レ「はっあん……♡」

ル「あはぁ♡ よしよし、よしよし♡

おっばいおいしいでちゅかぁ♡」

べ「寝る前に、あん……っ♡

おっばいぐくぐくしたいだなんて……♡

わがまな男だなぁ……♡」

レ「だけど、甘えてくれるのは大歓迎……♡

いっぱい飲んでいいからねえ……♡」

ル「ルビィたちのおっぱい、たっぷり飲んでえ……♡

お腹いっっぱいしたら、ぐっすり眠れるもんねえ……♡」

ベ「そしたら明日も、元気いっぱいだ……♡」

レ「楽しい明日にするために……♡

母乳でお腹いっぱいにしてえ……♡」

ル「おやすみなさあい……♡」

ベ「おやすみなさあい……♡」

レ「おやすみなさあい……♡」

ル「いよゝしっ♡

今日も元気いっぱいだねえ、キミ♡

こういう時は、きっといいこと起きるんだよね？

どんなお宝が見つかるかなあ？

どんな出会いが待ってるかなあ♡

楽しみで仕方がないだろう。なあ？

なあ？　なあなあなあ♡

あっはあ♡

そんじゃ、今日も元気に行ってらっしゃい♡

いい日になるように、がんばってこい♡

んひひひ♡」

べ」さて……。今日は何して過ごすかな。

この島一体俺のものだ。

特に何する必要もなし。一日遊んでもまったく問題ない。

お前だってそうなんだぞ？

俺といっしょにいる限りな？

だってのに、どこに行こうって言うのかねえ。

まったく、がんばりやさんだなあ……。♡

でも、俺はお前の、そういうところが大好きだ……。♡

だから、今日もがんばってこい♡

お前の帰り、待ってるぞ♡

行っただけ……♡ ふふふふふ……♡

レ」あら？　もう行っちゃうの？

もっとゆっくりしていけばいいのに……♡

ここにいれば、何もしてなくても大丈夫なのに……♡

ずっと私と楽しく遊んでいられるのに……♡

だけどあなたは行っちゃうのね♡　ふふふ……♡

ええ、わかってる♡　それでこそ、あなたって人なのよね♡

ええ、いつてらっしゃい。

私はここから応援してるから……♡

どうか無事に帰ってきてね

帰ってきたら、また……いっぱい甘やかしてあげるから♡

ふふふふふ……♡」

ル「ほうらぁ……♡

飲んで♡ 飲んでえ……♡」

べ「まだまだいっぱい飲むんだぞ……♡

俺たちの、甘い母乳……♡」

レ「でないと一日、がんばれないでしょう？」

ふふふふ……♡」

ル「私たちのおっぱいミルク、

ぐくぐくちゅうちゅういっぱい飲めばぁ……♡」

べ「今日の夜まで元気いっぱい……♡

一日楽しく過ごせるんだからな……♡」

レ「ホントは行ってほしくないのに、

お出かけしちゃうって言うんだから……♡

せめてこれぐらいはね……♡」

ル「出来るだけ早く帰ってきてね……♡」

ベ「帰ってきたら、後は一日、お楽しみだから……♡」

レ「だから、ケガだけはしないよう、

気をつけて……♡」

ル「行っちゃあい……♡」

ベ「行っちゃあい……♡」

レ「行っちゃあい……♡」